

平成 20 年度「質の高い大学教育推進プログラム」(教育GP) 採択

「複視眼的視野を持つ国際的医療人の育成」

2010 年度後期 EMP 報告書



Dr. Feizal Waffern (UCI)



Dr. Krishna Suvarnabhumi (PSU)



Dr. Maliwan Oofuvong (PSU)



蓮見 純平 医師 (千葉県こども病院)

宮崎大学医学部社会医学講座英語分野

玉田吉行・横山彰三・Michael GUEST・Richard WHITE・南部みゆき・白坂佳代(非常勤)

目次

I. 英語分野教員から

1.1 横山 彰三 『PSU(Prince of Songkla University)看護学部への訪問』	1
1.2 Michael Guest 『EMP5- Poster Sessions (March, 2011)』	3
1.3 Richard White 『March 2011 EMP 4: Teacher's Report』	4
1.4 南部 みゆき 『実情やニーズにあった看護英語をめざして』	5
1.5 白坂 佳代 『後期 ENP 授業内容報告』	7

II. 活動報告

2.1 EMP 日程表	医学科 5・4 年生	9
2.2 EMP5 授業報告	医学科 5 年生	10
2.3 EMP5 2010 前期アンケート	医学科 5 年生	17
2.4 EMP4 授業報告	医学科 4 年生	25
2.5 EMP4 2010 前期アンケート	医学科 4 年生	29
2.6 ENP3 授業報告	看護学科 3 年生	35
2.7 ENP3 2010 前期アンケート	看護学科 3 年生	38
2.8 ENP2 授業報告	看護学科 2 年生	40
2.9 ENP2 2010 前期アンケート	看護学科 2 年生	44
2.10 N_ENP 授業報告	附属病院看護部	46
2.11 N-ENP 2010 前期アンケート	附属病院看護部	48
2.12 O_EMP 授業報告	医学部事務部	51
2.13 O_EMP2010 前期アンケート	医学部事務部	59

III. 終わりに

玉田 吉行	63
-------	----

I. 英語分野教員から

1.1 PSU(Prince of Songkla University)看護学部への訪問

英語分野准教授 横山彰三

2010年11月に本学看護部の看護師2名がPSUに研修で行くことになり、GP最終年度でもあるので研修のオブザーブをかねて事務方からの2名(脇元さん、石川さん)とともにPSU看護学部を訪問した。

11月末はタイの伝統的な行事であるロイクラトン祭りの時期である。陰暦12月の満月の夜に、農民の収穫に恩恵深い水の精霊に感謝を捧げ、また罪や汚れを水に流し、魂を清めるお祭りロイ(=流す)クラトン(=灯籠)。日本のお盆の灯籠流しに似ているが、流すのはバナナの葉や紙で作った灯籠をロウソクや線香や花で美しく飾ったものである。運良く滞在初日にみる事ができた。さらに、もとはチェンマイが発祥らしいが、コムファイという紙でできた熱気球もあげる。幻想的でとても美しいがバンコクでは禁止されているらしい。それはそうだろう。こんな危ないことをやっていいのかタイ人!とピーターに言うがニコニコしているだけだ。ふと今年亡くなった義母を思いだし、一つ頼んでみなさんと一緒に夜空にあげた。届いたかな。



紙の気球に火が付きそうでつかないコムファイ

実は11月のはじめにハジャイは洪水により市中のほとんどが水につかった。大学病院は被災者の避難所となり、それは大変な状態であったらしい。我々が訪問したときは既に街中もきれいになっていたが、それもほんの数日前までは道路はゴミの山で埋まっていたそうである。泊まったホテルは一見きれいで何事もなかったようだが、エレベーターに乗った途端に異臭が鼻をつき、被害を思い起こさせた。

滞在中は蔵元さんと溝口さんと一緒に病院を見て回った。PSUには既に数回きたことがあるが、ハジャイという町はいつきてもどこかほっとする。ツーリストックではないし(もちろん観光客は全く見かけない)、11月だというのに気温は34度もあるんだけど、ね。

PSU看護学部と本学看護学科の交流の発端は、数年前EMPで招聘したPSU医学部のマティニ医師に伝言を託しコンタクトをとったことである。PSUからすぐに返事がきたが、なにせ本学看護学科の反応が恐ろしく鈍い。今となっては、いや、あまり変わってないか、、、それはともかく、今回PSU看護学部の学部長Aranya Chaowalitさんをはじめ管理職の方々とお話しする時間をとって頂いた。ざっくばらんに話をしたところでは、①現在2週間の学生相互交流(実習)であるができれば4週間程度にしたい、②教員間の研究交流も今後できれば開始したい、という先方の意志が確認された。有り難い話ですね。



PSU看護学部にて(写真中央はChaowalit学部長)

①については、医学科生はすでに4週間で行われている。過去、看護学生からもやはり2週間では短いとの感想が聞かれている。本学からは「総合実習」の時間を使って派遣しているらしいが、学内措置として2週間それを延長する形をとればいい。どうして難しく考えるんだろう。やるかやらないかを定めるだけなのに。学生の英語力に関しては、お世辞を入れて「まあなんとか」の評価のようだがそれよりも積極性がほしいとのこと。去年の派遣学生をPSU看護学生の英語のクラスに連れて行った際はまるで借りてきた猫のようだったそうです。異文化に飛び込んでいくには気力も体力も、それはもうものすごく必要になる。PSUにいったらいつもの自分と

は違う、もっと積極的な自分を「演じる」ことが必要です。そのためには普段の ENP から演じてみよう。がんばれ ENP の学生たち！

②については、いくつか問題があるように思うが、最たるものは研究交流を行うに当たっての本学（PSU でない）看護学科教員の英語力である。この点については昨年後半から英語科教員を中心に看護学科教員向けの ENP 講座を開始した。予想以上に参加者が多い。是非、英語コミュニケーションの実力をつけて看護学科と PSU との交流が実質的に開始されることを期待している。

今回の訪問ではタイの伝統的な民間医療について見学する機会を得た。いつもお世話になっている国際交流担当のピーターさんが私たちのリクエストに応じて、実際に診てもらったことのある治療師の方を紹介してくれた。ちょうど（とはいけないが）ピーターが 1 週間前から手首の痛みがあり診てもらう。特別なハーブの入ったオイルを塗り、患部側の肘、腕の付け根、肩胛骨の裏あたりをゴリゴリ音を立ててマッサージをする。実際ピーターは痛そうで顔をしかめるが、施術が終わり手首を振ってみると車のハンドルも握ることができなかった手の痛みが完全に取れていた。祖父の代から続く治療師の生活は質素である。患者の多くは病院まで行くことができない貧しい農民。治療代はある時払い、それも野菜や米などの現物も多いので現金収入それほど期待できないだろう。それでも、これは自分に与えられた天命だし自分を頼ってきてくれる患者が感謝してくれるのが一番嬉しいと、淡々と話して下さった。



タイの伝統的な医療(右が治療師)

人生の年輪を思わせる深い皺の柔和な顔がとても印象的な方だった。

また今回は、PSU 訪問後にバンコクとチェンマイでの用務（日本留学フェア参加）もあったため本学国際交流費から旅費の支弁があった。センター長・丸山真杉先生の太っ腹に感謝申し上げます。



PSU 付属病院にて看護研修(写真左は溝口さん)



滞在二日目の夕食:タイの中華料理



Doi SUTep 寺院(チェンマイ)



いつもお世話になるピーターさんとご家族

EMP5- Poster Sessions (March, 2011)

Michael Guest

For their final sessions in the EMP program I decided to have the students develop another practical skill- academic poster sessions. As most readers know, poster sessions are becoming a central feature of conferences all over the world and are especially popular among medical personnel, who can more easily display their research visually through a poster than they would with a standard presentation format. It also creates less tension than a standard presentation while involving more person-to-person interaction. All in all, that makes it the perfect focus for students who are about to graduate in medicine but also hope to build an international profile.

Most of the participants had never made or even seen a poster session before so the first session was devoted to outlining the purpose and priorities in preparing a poster. Using my own samples, I was able to convey the importance of the visual aspect of posters, as well as conceptual/content flow, clear organization, and a need to balance information presented with hints and leading questions designed to intrigue the viewer. In short, there are many departures from standard presentation slides when developing poster materials.

Two further sessions were devoted to checking and refining the content of the posters. First came what teachers call a surface check- for spelling, typo, grammatical and lexical (vocabulary) mistakes or problems. This was carried out both by peer and teacher suggestion. Students also critiqued the organizational (flow, order) aspects of each others' contents, and looked for imbalances, omissions, and other content features in order to create a more understandable product. The students also developed suggestions for the cosmetic, decorative side of the posters.

The third session was devoted to physically laying out the posters with further attention paid to refining smaller details.

On the fourth day, the product of their labour- the posters- were placed on the walls, half of the class at a time for 40 minutes each. Each student manned his/her poster and engaged viewers (made up of teachers, classmates, and visiting 4th year EMP students) who stopped by with further explanations or extended Q&A sessions.

I believe that students found both the process and the product to be beneficial in developing both practical cognitive and linguistic skills, as well as utilizing their creativity and social skills in the process. For all these reasons, I believe that the EMP 5th year poster sessions mark a suitable ending to the students' participation in the program.

Congratulations to all on a job well done!

In my EMP 4 classes during the first week of March, 2011, I had the students 1) create a brief tutorial lesson, 2) practice and refine their lesson plan, and 3) conduct their tutorials with their classmates and 5th-year students. Before the first class, students were given the following information:

- Before you come to the first class you should have a clear idea of the topic you are going to teach.
- Topics should be interesting, precise, and not well-known to other students.
- Topics do not have to be "academic," but you should try to teach something that will be new to other students.
- Your tutorial should include rhetorical and educational questions.
- A brief review section is also probably a good idea.
- You should make handouts to give to your "students."
- If you like, you can use physical samples and/or graphical computer samples.
- Using the whiteboard is also fine.
- Here is a basic pattern that might be a good guideline for you to follow:
 1. Introduction of your topic, and your particular focus.
 2. Background and/or known information outline (including any graphics or samples).
 3. Rhetorical/setup questions (interactions with your students).
 4. Introduction of any keywords or concepts (notes, handouts).
 5. New information (including graphics or samples). *THIS WILL BE THE MAIN SECTION OF YOUR TUTORIAL.*
 6. Questions/review. (End)

The first three classes we spent clarifying students' topics, refining any materials they planned to use in their tutorials, and practicing their tutorials with the teacher and their classmates. Throughout these sessions students were encouraged to make their tutorials as interactive and engaging as possible, and there was repeated peer/teacher review and feedback.

As an instructor I was generally pleased with the students' attitude and performance throughout these sessions. Their tutorials were engaging and interactive, and they showed a good understanding of how to present new material to a class of students. I was slightly disappointed, however, to see problems of formatting, punctuation, and spelling both on handouts used in students' tutorials, and on words and phrases they chose to put on the board during their tutorials. These were easily avoidable errors, and I hope they learned something from this experience.

2010年度後期の『EMP 報告書』が出来あがりました。『EMP 報告書』はこれで11冊目になります。EMPはプログラムの実施だけで終わるのではなく、このように報告書を毎回作成していることも特長の1つだと思います。プログラムとして定着すると、あって当然のように思ってしまうがちですが、記録として残しておくことで、EMPの歴史を辿り、EMPの成り立ちや意義を再確認することができます。気が付けば、私が初めて報告書作成のお手伝いをした2005年から丸5年が経っていました。

病院看護師向けのN-ENPを手伝うようになって2年目の頃、既存の看護英語教材がどのように学習内容を取り上げているのか、また、それが、看護師さんのニーズにどれほどあっているのかについて、興味を持ち始めました。その一番の理由は、「この状況でのこの表現を知りたい」と看護師さんが願う表現に出会うことが、教材の中ではあまり見つけられなかったことにあると思います。もちろん、診療科別に考え得る表現を全て網羅するのは不可能だとは思いますが、それとはまた別の、患者に対する思いやり寄り添いの視点を取り上げた表現がとても少ないことが気になり始めた頃でもありました。看護師さんが英語を使用する状況の実態調査やインタビューが、実情に合った看護英語教材には必要だと感じ始めたのもこの頃です。病院看護部N-ENPの受講生には産婦人科の看護師さんも多くいらっしゃるの、外国人の妊婦さんの来院や入院が珍しくないことは聞いていました。そして、妊婦さんやそのご家族（特にご主人）に対しての説明や助言が、妊娠時期の状態に応じて多岐に渡っていることが、お話を通して改めて分かりました。例えば破水が起こった状態から、無事に赤ちゃんが生まれるまでの工程には、いくつもの声かけがある、などです。素人の私にとっては、看護師さんに内容を教えてもらいながら、それぞれ適切な英語表現を探したり考えたりする日が続きましたので、これもまた、別の「生みの苦しみ」だったと思います。

そのような思いもあって、今回、手元にある看護英語教材を「人と人とのコミュニケーション」という視点で眺めてみよう、看護場面の会話を中心に扱っている教材7冊を使って、会話の流れや患者に対する配慮の表現を中心に簡単に調べてみました。看護師と患者のどちらが会話を始めるか、については、全体的に、看護師から始める会話例が多いようです。会話の自然な流れという観点から見ると、会話の順番取り(turn)の数が少ないほど、会話が不自然または唐突な印象を受けます。例えば以下の会話は、ある教材から抜粋した完結した会話の例です。

Patient : I'm here for dialysis treatment.

Nurse : How is your condition, today? Please lie down here. I'll connect the dialyzer.

この会話は挿絵とともに提示されていて、人口透析治療に来た患者さんが部屋に入ってきたところから会話が始まっています。担当の看護師に向かって「透析の治療に来ました」というのは、状況を十分に理解している看護師にとっては必ずしも必要な発言ではないように思いました。挨拶を行ったり、患者さんの名前の確認したりするほうが自然でしょう。また、患者さんに体調を聞いていますが、その返答が提示されないまま「横になってください。透析器をつなぎます」と看護師の話が続いています。学習用のテキストですので、情報量の提示が多すぎると学習者が心理的に負担を感じるかもしれませんが、会話の流れを極端に無視すると、実際に働いている看護師さんが現実とのギャップを感じてしまうかもしれません。患者さんへの配慮ということを考えれば、会話の自然な流れや、現実を反映した会話をもう少し丁寧を示した教材が必要だと感じました。また、励ましや共感をはじめとする、良好な人間関係を築く上での表現についても、教材によって扱いの差がありました。関連表現

をリストとして提示しているものが2冊、簡単なコラムを掲載してその重要性を述べたものが5冊、に分けられました。以下は、**Words of encouragement** (励ましのことば) として挙げられていた具体的な表現のリストを、ある教材からそのまま抜き出したものです。

Don't worry. / Everything will be alright. / Try to relax / sleep. / The doctor is very good / excellent. / I will be with you during the test of ~. / You can hold my hand. / Take some deep breaths. / Good luck. / Everything went fine. /

これらの表現を見ると、励ましだけではなく、指導や要求としても使用できる表現(例: **Try to relax. Take some deep breaths.**)も含まれています。また、**'Good luck.'** は、「頑張ってください」と和訳が掲載されていますが、例えば痛みを伴って苦しんでいる患者さんに対して「頑張ってください」の意味で**'Good luck.'**とは言えないでしょう。表現のリストにとどめるのではなく、どのような状況で使用すると効果があるか、を提示する視点もこれからは必要だと思いました。「自分を名乗ること」や「患者さんの名前」の重要性について触れている教材は1冊だけで、患者さんとの良好な関係は、自分と相手の名前の認識から始めることを強調しています。看護場面で通用する「自然らしさ」(**naturalness**)を重視した表現を取り上げることで、看護を学ぶ学生さんや看護師さんが学習上自信を持つことにつながるとも考えられます。看護師さんが職務上自信を持って英語で対応出来れば、患者さんの安心感にもつながることは間違いありません。

看護英語の学習といっても、専門用語の習得など語彙を中心に行うか、それとも患者さんとの良好な関係を築くための言い回しや表現を学びたいか、あるいは、看護師同士や医師、その他の医療従事者とのコミュニケーション方法を学びたいか、など、目的によって学習方法も違ってくるでしょう。心身に何らかの心配事を抱えている患者さんに対するいたわりや配慮の表現などに私自身は興味がありますが、その観点から書かれたテキストはあまり多くないようです。外国人の患者さんと接していて看護師さんが困ったり悩んだりするのは、普段業務の中で行っているそのような配慮の声かけが十分に出来ない、というジレンマを抱えているとも考えられます。**EMP**が発足した当初、附属病院看護師を対象にアンケートが行われて、英語の必要性を感じている看護師さんが多数いることは『2006年度EMP報告書』でも述べられています。実際に、外国人患者さんと接したことのある看護師さんがどのような意見を持っていて、もしそのことに関して悩みや心配事があるとしたら、何が原因になっているかを知ること、**N-ENP**に携わっていく上で大切な視点だろうと感じています。

ENP 継続学習グループ 8名、新規グループ 3名、O-EMP 前半 A グループ 4名、後半 B グループ 7名の計 21名の受講生の皆さんと秋から冬にかけて後期の英語学習の時間を過ごしてきました。今回は、火・水・木という3日連続の日程でしたが、どの曜日も全く個性の異なるクラスでしたので、日々新鮮な気持ちで医学部へ向かいました。4つのクラス毎に授業内容について以下に報告いたします。

ENP 継続学習グループでは初回の授業時に授業内容について話し合い、毎回受講者が交代でトピックを決めることになりました。前の週に担当者がトピックを決めて発表し、次のクラスまでの1週間で一人一人がそのトピックに関連する（自分の興味のある）話を準備する。そして、それらを授業に持ち寄って会話を広げようというものでした。10回のクラスで看護師の皆さんから出されたトピックは、ゲーム、中国、チリ、タイ、日本の格差社会、私の健康法、といった広い範囲のものでした。英語を通して看護の知識を付けたいと思う人、このENPの時間くらいは看護に直接的な話題から離れたたいという人など様々のようです。看護は人の生活とは切り離せないものですから、どんなトピックでも何らかの形で看護につながるのではないかと思います。第一回目のトピックの後、国についての話題が続き、外国の食、宗教、経済、地理、国民性など、いくつものアングルからそれぞれの国について調べ、会話しました。その後、大まかに4つの国（中国・チリ・タイ・日本）の基本的な情報を並べて比べ、相違点を説明することで、それぞれの国の特徴を見つける練習も組み込みました。そんな折、メンバーの中にタイのソクラー大学へ研修に行く方が2名いたので、研修後、経験したことを発表してもらいました。お二人の話はタイ文化、人、食、医療、病院内部と多岐に渡り、それぞれの専門分野の観点からの話もあり、他のメンバーも興味を持って聞いていました。写真もたくさんあったので、皆さん食い入るように写真を見ては質問していました。10月の授業開始時は互いにやや遠慮気味に話していた8名でしたが、終了時には大分打ち解けてきたように思われました。

ENP 新規グループは、病院での所属が同じで日頃から親しくされている3名でした。皆さん英語学習を再開するのは本当に久しぶりのこと。大変開放的で、日誌の英文レポートも全員でチェックする程でした。このグループでは、医療器具、アルコール摂取について、旅行、民間療法（便秘）、料理、体の部位、妊娠と出産、私の健康法といったトピックを扱いました。これらを題材に語彙増強と文法確認をしながら、伝えたいことを正しく伝える練習を繰り返しました。身の回りのことを伝えるのがこんなに大変だとは、とつぶやきながらも既知の単語と文法を合わせて分かり易く伝える取り組みをされました。このグループの第4週目は、ソクラー大学のウライ先生が講義をされる日と重なったので、先生にお願いして聴講させていただくことにしました。タイの医療制度とソクラー大学の歴史についての話で、受講したお二人は90分間熱心にメモを取りながら聴いていました。英語学習再開約1ヶ月目で英語のみの講義に出席するのは大変だったと思いますが、とてもよい機会だったのではないのでしょうか。次第に聞き易くなってきますので、継続して英語に触れ続けて欲しいと思います。

O-EMPはAグループ5回、Bグループ5回と前半と後半に別れての授業でした。Aグループは初回到授業内容についての話し合いをしたところ、語彙を増やし、文法を学び直したいという意見が出ました。主体的に多くの英文を目にすることが、語彙の増強や文法学習により効果をもたらします。そこで受講生の皆さんそれぞれが読みたい記事を見つけて、担当する週の1週間前にその記事をメンバーに配布し、全員が読んでから授業に参加するというシステムを作りました。トピックは、有名人、料理のレシピ紹介、旅行計画で、皆さんが予習して臨まれたのでどれも楽しく会話を発展していかれました。読んできた記事の中の単語や言い回し（文法）を会話の中で何度も使用することで、少しずつですが、使える英語が増えていくのを感じてもらえたと思います。その後、

ホワイト先生とのクラスに移行していきました。

O-ENPのBグループは、ホワイト先生の授業後（5回）、私のクラスとなりました。私は初めてお会いする方ばかりだったのですが、グループメンバー同士は全員よく知っている仲間のような感じでした。それで自己紹介は退屈…ということになり他己紹介から始まりました。授業内容としては、教材を基に会話の練習を行っていましたが、看護部のクラスと同じように、途中で2名がタイのソンクラ大学へ研修に行くことになり、その間他のメンバーはタイについてワークシートを通して理解を深める作業を行いました。帰国後、お二人は研修中の出来事について写真を交えて細かなところまで盛りだくさんの話をしてくださいました。そして、再びタイについてのワークシートに取り組みましたが、お二人が新たな情報や体験してきた出来事を加えてくださったお陰で、タイについての理解をさらに深めることができました。

以上、私の第3期目の報告とさせていただきます。

II. 活動報告

2.1 EMP 日程表

EMP5/4 スケジュール 2010 後期

Feb 28 (Mon)	8:40~10:10	10:30~12:00	13:00~14:30	14:50~16:20
M5 Room 301	9:30 ~ Medical Terminology	Dr. Krishna	Dr. Krishna	Guest
M4 Room 305	9:30 ~ Medical Terminology	Dr. Maliwan	Dr. Maliwan	White
Mar 1 (Tue)	8:40~10:10	10:30~12:00	13:00~14:30	14:50~16:20
M5 Room 301	9:30 ~ Medical Terminology	Dr. Maliwan	Dr. Maliwan	Dr. Waffern (two groups combined) Room 301
M4 Room 305	9:30 ~ Medical Terminology	Dr. Krishna	Dr. Krishna	
Mar 2 (Wed)	8:40~10:10	10:30~12:00	13:00~14:30	14:50~16:20
M5 Room 301	9:30 ~ Medical Terminology	Dr. Waffern	Guest	Tamada/Yokoyama/ Nambu: Medical Terminology M5:EMP301 M4: EMP305
M4 Room 305	9:30 ~ Medical Terminology	White	Dr. Waffern	
Mar 3 (Thur)	8:40~10:10	10:30~12:00	13:00~14:30	14:50~16:20
M5 Room 301	9:30 ~ 留学オリエン テーション (丸山真杉先生)	Dr. Hasumi	Guest	Tamada/Yokoyama/ Nambu: Medical Terminology M5:EMP301 M4: EMP305
M4 Room 305		White	Dr. Hasumi	
Mar 4 (Fri)	8:40~10:10	10:30~12:00	13:00~14:30	14:50~16:20
M5 Room 301		Poster Session	Attending 4th-year's tutorial session	Tamada/Yokoyama/ Nambu: Medical Terminology M5:EMP301(303) M4: EMP305
M4 Room 301		Attending 5th-year's poster session	Tutorial session	

注1) 2月28日、3月1、2日は、午前9時30分開始で医学用語学習。初日は、まず医学用語学習に関する玉田先生の説明がありますので、4、5年生ともに301に集合すること。他、医学用語の学習時間は3月2、3、4日のそれぞれ4コマ目です。
 注2) 3月1日の4コマ目(Dr. Waffern)の授業は、4年と5年の合同授業です。(場所: 講義室301)
 注3) 3月3日の1コマ目は、5年生を対象に丸山真杉先生のオリエンテーション(30-40分程度)があります。(301講義室)
 注4) 3月2、3、4日の4コマ目(医学用語学習時間)の時間枠を利用して、玉田・横山・南部、それぞれの部屋で英語によるインタビュー(プレゼンテーション)を実施します。時間・順番等については、4、5年生合同で話しあって決めてください。ノートパソコンが準備出来る人は持参し、持参出来ない人は事前に連絡をください。(南部まで)
 各学生が、それぞれ3人の教員の部屋でプレゼンテーションを行います。(1人3回行うことになります。)
 注5) 使用する部屋は、5年は301講義室、4年はEMP部屋305とします。医学用語学習用についても同様ですが、5年生は3月4日は、EMP部屋303を使用することも出来ます。(3月3日までは、303は講師控室として利用します)

2.2 EMP5 授業報告

28- February- 11- (1st class)

Hozumi Kawagoe

This class marked the beginning of the EMP classes for this term. We really enjoyed this class with Dr. Krishna. We did "JEOPARDY", which is the name of a famous American TV gameshow. In this game, Dr. Krishna divided us into two teams and we had to solve a lot of quizzes about the power of prevention, and aimed for high scores.

There are 3 main types of prevention: primary prevention, secondary prevention and tertiary prevention. The aim of primary prevention is to prevent new cases of a disease and the method involves reducing exposure to causes and risk factors, such as preserving a good nutritional status, physical activity, and emotional well-being, all immunizing against infectious diseases and making the environment safe. Secondary prevention will reduce the consequences of diseases and increase the chances of cure using the method of early diagnosis and treatment. Finally, tertiary prevention halts the progress of a disease or reduces the complications with effective treatment and rehabilitation. We also learned about some vaccinations (DTP, OPV, T, MMR, Ty, HB, JE, BCG) .

I think that in developed countries, people seem to consider treatments more important than prevention. But, in this class, I learned that prevention is very important so we should take it very seriously. If we invest a lot of money in prevention, the huge economic toll for chronic disease treatment and their major risk factors may be reduced.



February 28 (Mon) 13:00~ Dr. Krishna

Ritsuko Koga



Dr.Krishna told us about family medicine in Thailand. In Japan, we don't have chances to learn about it, so it was a very impressive and interesting class.

He explained about the basic principles of family medicine in Thailand. These included:

- 1, Doctor – patient – family relationships
- 2, High quality primary care provider for all age group:
 - First contact
 - Comprehensive care
 - Continuing care
 - Coordinated care
- 3, Community and population based practice

He also explained about the differences between "holistic care" and "comprehensive care". "Holistic care" refers to a person and "comprehensive care" refers to a disease. Family medicine requires holistic care, which is treatment for the whole person, such as physical, psychological, social, and spiritual care.

After today's lecture I thought that in the near future Japan will need family medicine.

Today we had our first preparation for poster sessions with Mr. Mike Guest. In the first 30 minutes, he gave us a brief idea of poster sessions which are quite common at international medical conferences. We learned some strategies on how to make posters more effectively. He suggested several points as below.

- start with a clear title and introduction
- 6-12 slides is about right
- do not write everything in the slide
- each slide should have a clear point and purpose
- make a clear point that you want to express visually
- use some extra information on the sheet to make your point clearer (ex. Photos, quote boxes, speech balloons, and charts etc.)
- make a clear flow from slide to slide

He gave a good example of slides which were visually effective and easy to understand. After his short lecture, we started to make outlines of what to put on each slide for our own posters. Then we gave a brief explanation of those to each other.

I thought we were very lucky because we could learn how to make an effective poster which is definitely useful when we become doctors.



1st, March, 2011 3rd class



We learned about ACLS (Advanced Cardiovascular Life Support) in this class. At first, Dr Maliwan explained the different points between the old and new criteria. Then we learned the correct way of ACLS through the use of the chart. After that, we used a human model and practiced ACLS looking at several case studies.

We have learned only about BLS (Basic Life Support) during our 5th year studies. BLS is the way of saving lives everywhere whereas ACLS is the way of saving lives in the hospital. As medical students, ACLS is certainly something we have to know. So this lecture was a good chance for us to learn about it and therefore is very useful for our future.

Today we had Dr. Maliwan's class. The first class was about Spinal Anesthesia. She taught us through the categories of: "Definition", "Anatomy", "Indication ,Contraindication" "Preparation" "Physiological change" and" complications". She used PowerPoint slides in her class which she had sent us by E-mail previously. She gave us a quiz is a part of her lesson, which was good for us because it kept us concentrating on what she was saying.



The content of the class was not too difficult and it was great time to gain medical knowledge while learning English medical terms.

March 1 (Tue)

Teacher: Dr. Waffern 14:50-16:20

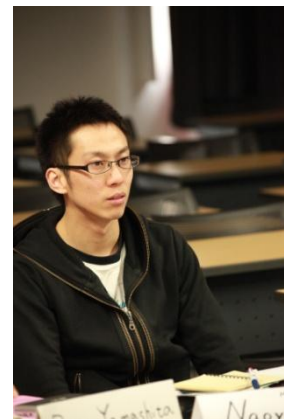
In Dr. Waffern's class we practiced history taking. Mr. Guest and Mr. White played patients' roles and we took histories from them. History taking is an essential skill for doctors. Patient's ID, chief complaints (CC), past medical history (PMH), family history (FH), social history (SH), Drugs, Allergies (All) are usually important information for most adult patients. After taking histories, two students presented the cases and got some feedbacks from Dr. Waffern.

Advice from Dr. Waffern

- Try to have good eye contacts with patients
- Do not forget to call patients' name using Mr. Ms. and Miss, even in case presentations
- Do not hesitate to ask patients some private issues such as menstrual periods, sexual activities if they are necessary. Ask for permission before asking such questions.
- Show patients that you are really listening by repeating some important information.
- At the end of the interview, we should always ask patients that is there anything they want to tell us.

I try to be polite and nice when I take histories from patients in Japanese, but Dr. Waffern's advice reminded me that I should do the same things in English.

Naoya Mochizuki



2011/03/02

We had Mr. Waffern's class in the 2nd period this day. We took the class in the NICU. It was the first time for us to take lessons outside of the usual room. First of all, we gathered in a small room in the NICU and did a case study. We explained how to take a medical history. Dr. Waffern told us some correct phrases. For example, if we ask why a Caesarean section (c/s) was performed, we should say, "What was the indication for a c/s?" Also we learned the importance to take a pregnancy history by asking about diabetes, hypertension, and infections. In addition, the Apgar score is useful for assessment of the baby's condition. Next we moved into the NICU. We were given the new Ballard Score in advance. We can assess the gestational maturity of a baby by using this score. At the end of the examination the total score determines the gestational maturity in weeks. The score consists of two groups. One is neuromuscular maturity. The other is physical maturity. We tried to calculate the score but. The baby was upset and cried because we all had gathered around him and touched him doing the examination. I was sorry about that, however, we gained some good experience by doing the assessment. That was very impressive and I'm sure we won't be able to forget how to calculate the score, thanks to the babies and doctors who cooperated in the NICU.

Maroka Hosoya



At first, I thought Dr. Waffern was very strict but I found him to be very kind to us. I felt that his commitment to training medical students. This class also was a rare opportunity and a good time. I don't think we will forget what we learned that day.

March 2nd (3rd class) 2011 Mr. Guest's class

In this class, we continued to make our own posters for the final poster session. One student showed his or her slides for posters to other 3 students. The first person fixed the mistakes (spelling, grammar, and vocabulary). The second person fixed the contents of the slides (order of the slides, organization), and suggested what to omit or commit. The third person fixed the visual of slides (some decorations). While students were fixing the each other's slides, Mr. Guest called each student one-by-one and gave advice, and checked for surface errors.

In this class, students gave advice to each other about their own slides, and increased their confidence to make good poster.

Ryo Yamashita



March 3 (Thur) 13:00-14:30

Naoya Mochizuki

Teacher: Guest

This was 3rd 'poster session' class with Mr. Guest. Posters are used at conferences all over the world to inform visitors. In the first class we learned the general idea of posters and how to make posters. In the second class we showed our posters' contents to each other and had spelling and flow checks. Written below is what we focused upon in today's class.

1. Physical layout (Putting our slides on the back ground paper)
2. Fixes + Adjustment + decoration (reviewed by the teacher and peers)
3. Practice explanations (Practice how to handle visitors)

It was very fun to arrange the slide order and decorate the slides. You can see everybody's characters through how their posters look like. This 'poster session' class was very practical and useful since it helped us to build skills in making posters and helped us to get prepared for future medical conferences.



3rd March, 2011

Kinuko Yamamoto

Dr. Hasumi:

The theme of this class was "Pediatric airway infection and antibiotics". The infections we dealt with were bronchitis and pneumonia.

Streptococcus pneumonia, Hemophilus influenza and Moraxella catarrhalis are the 3 major bacteria which cause bronchitis and pneumonia. Penicillin is effective enough

treatment for children's bronchitis and pneumonia. There are various types of penicillin. We learned which penicillin is effective for each bacterium. Recently, bacteria has developed resistency to some penicillin and it can confuse us. Dr. Hasumi taught us how to use antibiotics, and then checked our understanding by Q&A.

We have had a study session based on case-files every week this year. Therapies, especially choosing therapeutic drugs, is so difficult for us, so this class was very useful for all of us.

March 4th (2nd class) 2011: The day of the poster session

Ryo Yamashita

At 10:15: All the 5th grade students gathered in the 301 class room, and prepared for the session. The theme of the posters were...

Hozumi Kawagoe: Twin pregnancy ~MD-twins~

Ritsuko Koga: Type 2diabetes

Chika Shinoda: The future of healthcare system in Japan

Takayuki Suzuki: How you can make a diagnosis for abdominal pain

Yuichi Temman: HIV/AIDS in Japan

Maroka Hosoya: First aids for medical emergency

Naoya Mochiduki: Virtues of Health care system in Japan

Ryo Yamashita: Volcano eruption health hazards

Kinuko Yamamoto: Adult T-cell leukemia/lymphoma "ATLL"

From 10:40~11:15, set 1 included: Ritsuko, Takayuki, Naoya, Ryo, and Kinuko

They showed the posters to the visitors (4th grade students and EMP teachers) first.

From 11:20~12:00, set 2 included: Hozumi, Chika, Yuichi, Maroka

The set 1 team removed their posters from the wall, and set 2 team put their posters on the wall, and showed their posters to the visitors.

On the whole, 5th grade students and visitors enjoyed this session very much. I think it was the good chance for the 4th grade students to study medical topics. Mr. Temma's poster was the most popular in this session (at least, from my impression).

March 4 13:00~ 4th -year's tutorial session

Ritsuko Koga

4th grade students prepared wonderful and interesting tutorial sessions that we participated in.

Nozomi presented about earthquakes. Magnitude is calculated as follows:

$\text{Log}_{10}\text{Energy}=4.8+1.5\text{Magnitude}$. And she explained the differences between the recent NZ earthquake and the HANSHIN earthquake.

Shizuri talked about hay fever. 25% of Japanese suffer from it. I am also suffering from eye itches, sneezing and a runny nose. She gave us useful information such as wasabi and banana being effective to reduce the symptoms of hay fever. I want to try these.

Sara explained about Black holes. A black hole is a field which has extremely high gravity. To create a black hole

you can accelerate the proton beams and cause them to collide using a large hadron collider or compress the sun until its radius becomes 3km.

Kei presented about Crush syndrome. Pressure caused by collapsing houses and debris lead to necrosis of skeletal muscles. The muscles produce harmful agents. If the pressuring items are moved, harmful agents are released in circulatory system. You may develop cardiac arrest or ventricular fibrillation.

Moe talked about neglected diseases. They are a group of tropical infections which are especially endemic and not paid attention to in developing regions of Africa, Asia, and the Americas. These diseases are neglected both because of patients' status and problems of producing the drugs for NTD. Now DNDi is developing new treatments for neglected diseases.

<Dr. Waffren による NICU での実習の様子>



<Poster session の様子>



2.3 EMP5 2010 後期アンケート (回収率 100%)

1. プログラム全体を通して5段階で評価して、○で囲んで下さい。

5. とても有益だった	6
4. 有益であった	3
3. どちらかという有益	0
2. どちらかという有益でない	0
1. あまり有益でない	0
0. 有益でない	0
未回答	0

2-1. Dr. Maliwan の授業を5段階で評価して、○で囲んで下さい。

5. とても有益だった	5
4. 有益であった	4
3. どちらかという有益	0
2. どちらかという有益でない	0
1. あまり有益でない	0
0. 有益でない	0
未回答	0

2-2. Dr. Maliwan の授業の最も良かった部分とその理由があれば書いてください。

- ・人形を使って実践的なACLSについて学ぶことができてよかった。
- ・資料を事前に送って頂いていた点
- ・救急における応急処置の、最新の情報が組み込まれていた点。
- ・BLS・ASCLのアップデートされた情報を学ぶよい機会になりました。
- ・ACLSというあまりまだ詳しく学んだことがない内容だったので難しかったが、臨床に即しており、非常に勉強になりました。またクイズ形式にしてくださったので理解と定着に助かりました。
- ・BLSについて、復習も兼ねて、実践的に学びました。ACLSについては、具体的な薬剤についての説明や具体的な流れについて、授業をしていただき、将来、また、近いうちにそういった状況におかれたときに対応できるような気がします。脊椎麻酔については、図や表が見やすく、頭にも知識を入れやすかったです。
- ・クイズや実践を織り交ぜながらで講義を進めることによって、学んだことの確認が行え、より確かな知識になると感じた。
- ・Case studyを通し、より実践に近い形で脊髄麻酔を英語で学べた。
- ・タイでは実際に学生が髄液穿刺等を実践するため、授業でも日本ではあまり学生に教えない麻酔薬の詳細や針の太さ等について教えていることが伺えた

・ BLC の復習ができたこととまだ習っていない ACLS を通して学べた。

理由：ACLS は研修医には必須なので、先取りできモチベーションが向上した。

・ ACLS に関して、ロールプレイ形式で行えたのでとてもためになった。

2-3. Dr. Maliwan の授業の改善すべき部分とその理由があれば書いてください。

・ ありません

・ 資料の容量が大きすぎたので、印刷するまでに苦勞しました。

・ 事前に渡された資料が膨大で（それでも先生は絞ったのだとのことでしたが・・・）予習の負担が大きかったように思います。私自身は全て斜め読みしてしまいました・・・。結果、それでもそれなりに予習効果はありましたが。

・ 大量の資料があり、事前に全部に目を通せなかったため、その時間を、自分自身もう少し確保すべきでした。

・ 事前の配布資料が 80 ページ以上にも渡っており、消化しきれなかった。ポイントを絞った資料を配ってもらえればもっと余裕を持った予習ができたと思う。

・ 予習用の資料をもう少し絞って送っていただけるとありがたかった。予習に時間をかけたつもりだが他の先生の予習もあり、合計 200 頁以上の英語の PDF やスライドを読むのは大変で、全部は読み切れなかった。英語を読むのが得意な人もいればそうでない人もいるので、圧倒されて全然読めなかった人がいたのでないか心配だった。

3-1. Dr. Krishna の授業を 5 段階で評価して、○で囲んで下さい。

5. とても有益だった	4
4. 有益であった	5
3. どちらかという有益	0
2. どちらかという有益でない	0
1. あまり有益でない	0
0. 有益でない	0
未回答	0

3-2. Dr. Krishna の授業の最も良かった部分とその理由があれば書いてください。

・ Q&A 形式になっていて、内容理解がしやすかった。

・ 事前に資料を送っていただいていた点

・ クイズゲーム形式で楽しかった点。

・ 本学では系統だって、その専門の医師から学ぶ機会のない Family medicine を学べたのはいい機会でした。

・ 予防医学と家庭医療のイントロダクションという感じでポイントがはっきりしていてよかったです。

・ 最初の授業でのゲームがとても分かりやすかったです。ゲームであると、得点を狙いにいくため、よくよく考

え、間違えると、しっかり頭に残ります。授業の進め方が、とても効率的でした。また、FAMILY MEDICINEは、日本になじみの無い医療ですが、学んで大変勉強になりましたし、興味深いものでした。

・テレビのクイズ番組の手法を用いたゲームを授業の導入として用いるやり方は新鮮で、緊張もほぐれるので良いと思った。

- ・家庭学の哲学、理念が学べた。
- ・予防医学の大切さについて改めて学ぶことができた。
- ・クイズ形式の授業は考えさせられ、非常にたのしみながら行えた。

3-3. Dr. Krishna の授業の改善すべき部分とその理由があれば書いてください。

- ・ありません
- ・特にありません。
- ・内容が少し物足りないかなと思いました。家庭医療は日本に無い制度なのでもう少し詳しく話して下さってもよかったですと思います。予防医学でもワクチンの話が出ており、日本とはまた接種内容も違うので比較もして下さるとよかったですかもしれません。
- ・ありません。授業だけで、沢山の知識を得ました。
- ・1 限目がクイズだったのに対し、2 限目は受動的な日本によく見られる授業スタイルだったので、もう少し全体的に楽しさと学びの配分を均等にし、バランスがとれていたらより良かったと思う。
- ・ケーススタディーを用いて、実際に家庭医学で遭遇する患者さんについてみんなで考えるスタイルのほうがより実践的でよいと思う。(予習はより大変になるが、臨的に得るものも多いと思う)
- ・2 コマ目のレクチャーは途中でついて行けなくなる場面も。勉強不足を感じた。

4-1. Dr. Waffern の授業を5段階で評価して、○で囲んで下さい。

5. とても有益だった	7
4. 有益であった	2
3. どちらかという有益	0
2. どちらかという有益でない	0
1. あまり有益でない	0
0. 有益でない	0
未回答	0

4-2. Dr. Waffern の授業の最も良かった部分とその理由があれば書いてください。

- ・NICUで新生児の実践的な身体診察ができて勉強になった。
- ・NICUで授業を行った点
- ・NICUでの実習は実践的でとても分かりやすかったです。
- ・実際にNICUにて赤ちゃんに触れ合いながら授業を行う等、実践的な授業を行った点。

- ・強調したい内容がクリアでよかった。英語での患者さんのプレゼンの仕方がわかってよかった。ディスカッションも面白かった。また NICU で ballard score を使った新生児の評価もとても楽しかった。
- ・問診の際に聞くべきことの、英語での聞き方を復習することができ、また新しく知ることができたフレーズもいくつかあり、まさに EMP でやるべきことをできました。また、新生児の実践的な身体診察の仕方も有意義でした。
- ・実際にNICUで患者を診ながらの実践的な授業や常にインタラクティブな授業を心がけ、自分たちに質問をどんどん投げかけ考えさせる教え方は非常によいと思った。
- ・実践的な新生児の評価の仕方を学び、かつ実際に実践できたこと。
- ・簡単なことでもすぐにほめてくれるので、とてもうれしかったし、もっと頑張ろうというモチベーションアップに繋がった。
- ・実際にアメリカの臨床で使う表現が学べたこと。
- ・アメリカ人の先生の講義を受けたのは初めてで、いい体験となった。
- ・思っていたよりも自由に討論することが求められていることがわかり、より身が引き締まる思いとなった。
- ・日本の学校ではなかなか行わないケースに基づいた授業や、プレゼンの方法などが学べてよかった。

4-3. Dr. Waffern の授業の改善すべき部分とその理由があれば書いてください。

- ・スコアをつけるプリントが何枚かしかなかったので、人数分いただければよかったと思います。
- ・特にありません。
- ・ケーススタディの授業は事前に簡単な患者さんの情報を教えていただけると問診もとりやすいと思います。
- ・全員が、新生児の診察を実践できたら、なお、勉強になったとも思います。
- ・内容が5年生にとってはやや物足りないものであったように感じた。
- ・よく学生同士の議論を期待されたが、その期待にこたえられず先生に申し訳なかった。よい議論は突然できるようにはならないので、普段の勉強会で講義形式をあらため、もっと議論していくようにこれからしていくべきだと思う。改善点としては、授業のコマ数をもう少し増やせるとよいかと思う。予習のプレッシャーがすごいので、それはそれで大変ではあるが。

5-1. 蓮見先生の授業を5段階で評価して、○で囲んで下さい。

5. とても有益だった	7
4. 有益であった	2
3. どちらかという有益	0
2. どちらかという有益でない	0
1. あまり有益でない	0
0. 有益でない	0
未回答	0

5-2. 蓮見先生の授業の最も良かった部分とその理由があれば書いてください。

- ・今まで自信のなかった抗菌薬について学べてよかった。
- ・抗菌薬の授業以外にも、研修先を決める時のお話など聞かせていただいた点
- ・適切な抗生物質の使い方や、そのメカニズムをわかりやすく教えて下さった点。
- ・学生にはまだ難しい抗菌薬の使い方（選び方）をととても分かりやすく解説してくださったので、分かった気になりました。
- ・ポイントがクリアで非常にわかりやすかった。抗生剤の使い方は実はあまり臨床講義でも強調されないのだから役立つと思った。
- ・小児科、更に感染症、というジャンルは、正直、整理できていないことが沢山あったので、蓮見先生の授業で、思いだすことや、新たに知ることが沢山ありました。蓮見先生の授業内容は、医師として働く際にとっても実践的で、勉強になりました。抗生剤についても、特にペニシリンについては、使い方を習得できました。
- ・ 実勢の現場での抗菌薬の選択について詳しく学ぶことがなかったので、内容が新鮮だった。また非常にわかりやすかった。
- ・小児でよく遭遇する上気道細菌感染症に対するペニシリン系の治療に絞った内容で、とても実践的であった。
- ・広域の抗生剤を乱用している医師をよく見るため、蓮見先生が抗生剤を教科書通り基本に忠実に使っていることが確認できてよかった。よい手本となった。
- ・蓮見先生の研修先選びの経験をプレゼンしていただいたので、良い参考となった。
- ・授業レベルもちょうど良く、研修の病院選びについての話もとてもよかった。

5-3. 蓮見先生の授業の改善すべき部分とその理由があれば書いてください。

- ・ありません
- ・特にありません。
- ・もう少し内容が多くてもよかったかなと思った。小児に多い感染症なら肺炎以外にも扱ってほしかった。
- ・もっと、沢山授業があれば、もっと多くの知識を講義していただけたと思います。
- ・講義はとても簡潔でありながら、勉強になったのでとても満足している。もう一コマ受けたいと思うような講義であった。
- ・去年の授業から引き続いて、人前でプレゼンするといったことに抵抗がなくなってきた。ポスターセッションという新しい発表方式に挑戦できたこともよかった。

6-1. ゲスト先生の授業を5段階で評価して、○で囲んで下さい。

5. とても有益だった	7
4. 有益であった	2
3. どちらかという有益	0
2. どちらかという有益でない	0
1. あまり有益でない	0
0. 有益でない	0

6-2. ゲスト先生の授業の最も良かった部分とその理由があれば書いてください。

- ・初めてポスターセッションの練習ができてよかったです。
- ・今までやったことがなかったポスター形式での発表。
- ・自分で作りながら知識の幅を広げることができ、訪れた人たちにいかに伝えるかという技術を学んだ点。
- ・誰かにプレゼンする機会はこれからきっと多くあるので、良い練習の機会になりました。
- ・ポスターセッションは初めてだったが、非常にわかりやすい指導で楽しく作業が進められた。
- ・ポスターセッションは、自分が発表したいことの知識をうまく英語でまとめること、度胸をつけることのいい機会でした。たくさんの方が質問してくれて、興味を持ってくれていることは嬉しかったし、自信に(ほんの少しですが)なりました。準備する際は、ゲスト先生の添削は、こういう表現もあるのか、というように、大変勉強になりましたし、楽しかったです。
- ・自分でプレゼンテーションの内容を考え、ポスターを用いて発表するのは想像力を使い、それがとても楽しく、またプレゼンテーションのやり方を学ぶことができた。
- ・ポスター発表は今まで意識してしたことがなかったので、一度経験できたことはよかったです。

6-3. ゲスト先生の授業の改善すべき部分とその理由があれば書いてください。

- ・自分と同じ時間に発表する人のポスターも見なかったです。
- ・事前にどういう事をしてもらいたいのかを授業の前に伝えてくれたらもっと構成を練ることができたかもしれない点。
- ・実際の国際会議でのスタイルはどんな感じなのか、最初の方に写真なりビデオなりがあるとより想像がしやすいと思った。
- ・ありません
- ・もう少し構想を練る時間がほしかった。事前に内容を考えておくように伝えるなどしておけばいいと思う。
- ・去年のポスターの写真等を最初に示していただけるともっとイメージしやすくて、作業がはかどったのではないかと思います。
- ・時間が無い・・・しかし、短い間でしなくてはいけないのではないとも思えた。

7. プログラム全体を通して改善すべき部分とその理由があれば書いてください。

- ・去年のポスター発表では、先生方がたくさん見に来られましたが、今回はほとんど学生同士だけでした。5年はEMPの授業としては最後でしたので、多くの方々に見ていただけるスケジュールであったらと思います。
- ・全体を通しては有りません。
- ・今回、エクストラ(?)で面接が開催されて、事前に具体的な内容を把握することが出来なかった為、面接用のppt.を授業が開始してから作ることになってしまい時間も足りず満足できる内容で面接に臨むことが出来なかった為、事前に具体的な内容(留学先で使えるppt)が分かっていたら授業が始まる前の休みの期間に多少と

も準備できたと思われました。自習の時間が適宜入っていた点はよかったです。(面接・授業の準備にも多少とも活用できたので)

・全体を通して4年の時よりも授業の内容が充実しており、また学生と **interactive** な授業が設定されており有意義だった。ただ玉田先生がおっしゃったように前半3日のスケジュールが非常に詰まっており一つ一つを消化するのが大変だった。

・特にありません。最初の3日間は大変でしたが、その分、後が楽しいばかりだったので、今となっては、いいと思います。

・外国から招く先生方の都合もあると思うのですが、前半がかなり内容的に詰まっており、なかなか大変でした。

5日間あるので海外から招く先生の授業を均等に配置できれば良いと思います。

・同じ先生に頼むことで、先生の授業もどんどん改善されている点が良いので、可能であれば同じ先生に頼むのがよいのではないかと思います。

・予習をするかどうかで、授業で得るものも違うし、議論や質問が活発となるので、大学生にいうことではないが真剣に予習をしてくるようにみんなに少しは言うておくことは必要かもしれない。あまり効果はないかもしれないが、1人でもきちんと予習をしている人が増えることはいいことである。

8. プログラムの実施期間(時間)についてどう思いますか?

・良いと思います。

・適当だと思います。

・朝もそんなに早くなく、ちょうどいいと思います。

・適当

・ちょうどいいと思う。

・ちょうど良かったです。

・1週間というのは適当だと思いますが、実習から終わって1週間空いてからの授業だったので、実質長期休暇が2週間短くなります。できれば実習が終わった次の週に授業があれば良いと思いました。

・予習に非常に時間がかかったのでポリクリから1週間空いていたことは非常に助かった。実施期間はちょうどよかったと思う。

・大変だが日程的に仕方ないと思う。

9. 自分自身の中・長期的な具体目標を立て、それを書いてください。

・PSUに行くまでもうあまり時間ありませんが、今までやってきた英会話・医学知識の習得・医学英語の3つの事を継続していきたいです。

・ソクラに行くまでに医学英語の復習、インターネットでの英会話学習

・タイ留学を、自分の海外進出の第一歩とし、積極的に海外の情報を取り入れられるようになりたいです。

・PSUにいくまでに、日常英語、医学英語、医学知識を正しく身に着ける。英語で臆せず会話する。

・残り1年なので国試合格に向けての勉強のみならず、できるだけ医学英語も続けたい。そのためにも特に **case study** は自分のためになるのでこれからも参加できたらいいと思う。

・タイに留学に行くまで、医学英語を最終的な段階までもっていき、向こうで困らないようにしていきたいと思います。医学的な知識は言うまでもなく、将来的なことも考えて、しっかり習得していきたいと思います。また、機会があれば、英語での日々の会話を楽しみたいと思います。

・英語を用いても医者業務を日本語同様にこなせるようになる。また、タイで日本では診れない熱帯の感染症などについて学び、将来そういった類の疾患も診れるようになるためのきっかけとする。

・UCIに行くにはまだまだ、鑑別診断を挙げたり、身体診察を英語でするスキルが足りないため7月までさらに集中して高めていきたい。医学と英語の両立が一番難しいため、無理しない程度に楽しみながら頑張っていきたい。

・英語しか使えない患者さんを相手にしたときに、不自由なくケアを施せる程度の英語力をつけたい。

10. その他、気がついたことや意見があったら、何でも書いてください。

・発表の準備や予習などで、バタバタして大変でしたが有意義な授業ばかりで、大変勉強になりました。外部の先生の招聘の準備などしていただいた英語科の先生方、ありがとうございました。それから、招聘講師の方との交流パーティーに学生をよんでいただきありがとうございました。

・EMPに参加して、発表、質疑応答、講義のコメントをする、授業レポートの作成（英作文の練習）など自分ひとりではなかなかできない学習をする機会を与えていただけたのが一番よかったです。

・特にありません

・先生方には沢山準備していただき、このような機会を設けていただき、感謝しています。そのことがタイでも活かせるように、留学に行くまで、もう少し頑張ります。ありがとうございました。

・EMPプログラムでタイに行く際、選択科目について選択できる科しか書いておらず、内容がわからない。その他、宿舎、留学中の生活等、先輩の話や報告以外に情報がなかなか得られないので、事前にそのようなことについて記してある冊子などの配布があればよいと思う。

・たくさん準備してくださった大学の先生方や講師の方々の努力を無駄にしないために、頑張って予習をしたつもりだが、どうしても間に合わず、悔しい部分も残った。しかし、振り返ってみるとEMPを通して気づかないうちに英語を読むのがあまり苦痛にならなくなったり、読むスピードが伸びたりと大きな進歩を感じることができた。医学英語は中途半端だし、書くのも未だにすごく苦手だが、これからもあきらめずに一步一步着実に進んでいけたらと思う。自分にとってEMPの授業はこれで終わりとなりますが、プログラムを通し多くの人と出会い、学び、成長することができました。多くの先生方に支えられて自分は本当に恵まれていたと思います。特に玉田先生、横山先生、南部先生、マイク先生、リック先生には5年間を通し、大変お世話になりました。宮崎大学に入って1番よかったことは何かと聞かれたら間違いなくEMPだったと胸を張って言いたいです。本当にありがとうございました。まだまだEMPは続きますが、これからもよろしくお願いします。

2.4 EMP4 授業報告

Feb.28 (Mon)

Kei Okabe



Teacher: Dr.Maliwan from PSU

Contents: Spinal anesthesia & Cardiopulmonary resuscitation

During this morning's class, Dr. Maliwan taught us various things about spinal anesthesia. In this class, she quizzed us about things we had learned. Some questions were easy and others were not. We enjoyed this class.

The topic of the afternoon class was emergency medicine; CPR in particular. We learned the process of first aid for a heart attack victim. After that, we practiced using a model. It was very interesting. Dr.Maliwan, thank you for coming and giving us souvenirs!

Mar.1st

Reports for Dr. Krishna's Classes

Moe Ozawa

In the first class, Dr. Krishna gave us information, through a quiz, about the present situation of primary health care in Thailand and the world. In the second class, we learned about family medicine in Thailand.

In the first class, every student was able to participate because of the teaching method—a quiz. When we were in fourth year, we took a public health class. In this class we were able to review things we already had learned, as well as learn some new things. Today, for example, we found out about the WHO's health standards for children. Health standards for children are important for medical students, but we have not had a chance to study to study this at Miyazaki University. This class was very useful. We also obtained significant knowledge about preventive medicine in Thailand.

In the second class, Dr. Krishna taught us about the education of a family medicine and preventive medicine in Thailand. Up to now, senior students who have been to PSU have told us about the local situation, but this was first time for us to hear about this from a local doctor. I now have a clearer image of Songkla.

A VTR made by students of PSU was also very interesting. It was called "Importance of the breakfast." The feeling and the message of the VTR was very attractive to us.

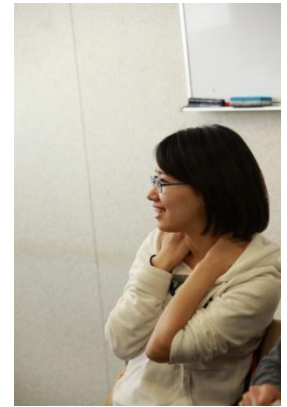
In Japan, there are currently not many Public Health classes taught. Their importance should be more recognized, and Miyazaki University should focus on public health practice for students. Public health is the most basic concept for saving lives all over the world.



2011.3.3 Pediatric Airway Infection and Antibiotics

Shizuri Maeda

Dr. Hasumi Junpei from Chiba Children's Hospital gave us a lecture on Pediatric Airway Infection and Antibiotics. We listed 3 major types of bacteria that cause bronchitis and pneumonia in children. We also made lists of the most effective antibiotics used to treat each type of bacterium. We were already familiar with the medical content of the lecture, so this was a useful review of our knowledge. It also gave us the opportunity to discuss this topic in English.



3. March

Nozomi Shinohara



In Dr Waffern class, we went NICU and observed infants. Most of us have never been to NICU, so it was very exciting. Dr Kodama also attended our class and gave us information about pediatrics department. First, we were in conference room and discussed about what information do we have to know before we diagnose the infants. As the infants can't explain their symptoms by their selves, it is very important to gain the detailed information from their mother. And after that, we can diagnose infants for the first time. During our diagnosis, we checked their neuromuscular maturity and physical maturity. From these parts, we could know the maturity rating.

I'm really sorry for the infants who we diagnosed because he cried a lot and he looked very hungry. After we diagnosed the infant, we came back to conference room again and we discussed about the week of gestation. Every students and also the infant was very tired but this class was the most unforgettable experience for us.

Tutorial

Sara Yoshizawa



In Mr. White's class, we learned about and practiced conducting brief tutorial sessions. I found that it was difficult to make my tutorial interactive and get my "students" involved in the class. There is a big difference between a tutorial and a presentation, so I had to focus on different sections of the tutorial and try not to lecture too much.

Mr. White gave an example tutorial in the first class, in which he argued that there is a difference between pop and rock music. Through the music samples he used, which were very enjoyable, his argument was convincing to us!

In later classes we worked on practicing our own tutorials and making handouts for our "students." On the last day, we conducted our tutorials before a class consisting of both 4th and 5th-year students. I really enjoyed this class!

<Impression of EMP>

Nozomi Shinohara

I`m very satisfied with this EMP class. Because not only me but also everyone`s English ability surely raised. Before the start of EMP, actually I thought it troublesome because I couldn`t go back my hometown though regular test had done and I couldn`t attend my club. But now, I`m really glad to participate in the EMP and I`m proud of that I`m the member of the EMP.

Now I want to focus on the most impressive class. Though each classes were fun and beneficial, tutorial was the most impressive because training everyday raised our English ability and skill of tutorial. Also I realized that how difficult it was to make students focus on me and my topics. We studied every day during the lunch. And we commented each other. Those days were very good for improving our tutorial skills and English pronunciation.

By the way, I`m sorry that HIRO quitted EMP. We are only five members now, but we are planning to watching English movies without capitation and study more about English medical terms at one`s house and so on to improve our English ability more and more.

Impression for EMP this spring

Sara Yoshizawa

During these sessions, more classes were connected with actual medical techniques. Taking a patient history in English was very practical but difficult. The method for evaluating a newborn baby was new for us, but seems to be a common standard in many countries.

We also learned about recent changes to basic first aid. This is very important because the proper administering of first aid has a strong effect on mortality rates. We learned and practiced how to give CPR using a simple model. This made it quite easy to learn the correct speed and strength necessary for the proper administration of CPR. The lectures about family doctors and antibiotics were also very interesting. These days many antibiotics are being developed, so doctors need a lot of information in order to choose the appropriate medicine.

We enjoyed all the classes, and we enjoyed interacting with the teachers. Teachers asking questions made us concentrate more on the class and think deeply to work out solutions.

I think that having classes everyday definitely helped us to progress in our English skills!

Kei Okabe

I really enjoyed these EMP sessions. There are now only five students (such a small class!), but the atmosphere is very good. We studied for 5 consecutive days so, day by day, I came to speak English more naturally. I really enjoyed this term more than the last term. I think it`s good for us to have classes in a concentrated schedule.

The teachers were great. The teachers` from PSU & UCI taught in a very interactive style, so I had much to consider and discuss with my classmates.

The time we spent in NICU left the biggest impression on me. That was my first time to enter the NICU and see a newborn baby. Before meeting the baby, we practiced how to take family history, social history, and medical history. It was similar to what we (4th grade students) did at OSCE. So it was good practice

with medical English.

Our tutorials were also interesting. I now clearly understand the difference between a tutorial and a presentation. My topic was about earthquakes and Crush Syndrome. It was difficult to explain this topic to others. In these classes I learned how important it is for a teacher or presenter to keep their audience engaged.

I really enjoyed these EMP sessions. Thank you.

2.5 EMP4 2010 後期授業アンケート (回収率100%)

1. プログラム全体を通して5段階で評価して、○で囲んで下さい。

5. とても有益だった	3
4. 有益であった	2
3. どちらかという有益	0
2. どちらかという有益でない	0
1. あまり有益でない	0
0. 有益でない	0
未回答	0

2-1. Dr. Maliwan の授業を5段階で評価して、○で囲んで下さい。

5. とても有益だった	3
4. 有益であった	0
3. どちらかという有益	2
2. どちらかという有益でない	0
1. あまり有益でない	0
0. 有益でない	0
未回答	0

2-2. Dr. Maliwan の授業の最も良かった部分とその理由があれば書いてください。

- ・ 模型を使って実際に CPR の練習を行うことができた。
- ・ 基礎的な解剖学の復習を行って下ったので知識の確認ができた点と、ワークショップが入っていたので、実践的に、また主体的に行えたところがよかった。
- ・ 講義中、質問を交えていて、楽しかったです。
- ・ 実際に模型を用いて実践できたこと。
- ・ 実演を混ぜての授業だったこと。私たちの理解度を確認しながら授業を進めていただけたこと。

2-3. Dr. Maliwan の授業の改善すべき部分とその理由があれば書いてください。

- ・ 特にありません。(4人)

3-1. Dr. Krishna の授業を5段階で評価して、○で囲んで下さい。

5. とても有益だった	1
4. 有益であった	4

3. どちらかというとも有益	0
2. どちらかというとも有益でない	0
1. あまり有益でない	0
0. 有益でない	0
未回答	0

3-2. Dr. Krishna の授業の最も良かった部分とその理由があれば書いてください。

- ・質問形式になっており、みんなが自分で答えを考え、間違っていた場合も解説で理解できた。
- ・1コマ目がクイズ形式で大変面白かった。
- ・1コマ目のクイズ形式はおもしろかったです。ちょうど直前にテストで勉強していたところで、分かりやすかったです。
- ・クイズ形式でおもしろかった。
- ・最初の授業はクイズ形式で楽しみながら学習出来た。

3-3. Dr. Krishna の授業の改善すべき部分とその理由があれば書いてください。

- ・内容や英単語を毎回ホワイトボードに書いて下さるので時間がおしてしまった。
- ・1コマ目の問題の難易度は、日本人学生の難易度とは違っていた。2コマ目は受身的であったので、1コマ目のように相互のやりとりがあるとなおよかった。
- ・2コマ目がずっと講義だったので、少し理解しがたかったです。
- ・特にありません
- ・2コマ目の授業は講義だったが、内容は素晴らしいのだが、間がないまま、ひたすら話し続けておられたので、少し疲れました。

4-1. Dr. Waffern の授業を5段階で評価して、○で囲んで下さい。

5. とても有益だった	5
4. 有益であった	0
3. どちらかというとも有益	0
2. どちらかというとも有益でない	0
1. あまり有益でない	0
0. 有益でない	0
未回答	0

4-2. Dr. Waffern の授業の最も良かった部分とその理由があれば書いてください。

- ・各個人が質問する場をもつことで能動的に授業に参加することが出来た。また新生児の評価では実際に赤ちゃん

んを観察することで医学的にもいくつも学べる点があった。

- ・ 1日目の医療面接も2日目のNICU訪問も、大変実践的で楽しく行うことができた。

また、先生が学生から意見を引き出そうと努めてくださったので意見を言いやすい雰囲気を作ってくださいました点がよかったです。

- ・ すごく楽しかったです。実際に新生児を診ることができ新鮮でした。
 - ・ 自分で考えて発言することができた。
 - ・ グループ学習をしたところ。実習をしたところ。全体を通して、今何を勉強してるのか、目的を明確にしなが
- ら学習を進めることができた点が素晴らしかった。

4-3. Dr. Waffern の授業の改善すべき部分とその理由があれば書いてください。

- ・ 事前の症例プリントが違うものだった点がミスだったと思う。
- ・ 特になかった。(3人)
- ・ 特にありません、充実した授業でした。

5-1. 蓮見先生の授業を5段階で評価して、○で囲んで下さい。

5. とても有益だった	2
4. 有益であった	3
3. どちらかという有益	0
2. どちらかという有益でない	0
1. あまり有益でない	0
0. 有益でない	0
未回答	0

5-2. 蓮見先生の授業の最も良かった部分とその理由があれば書いてください。

- ・ 抗菌薬の選択について具体的に学ぶことができた。
- ・ 小児感染症ということで専門的な内容を想像していたが、実際は抗菌薬の良い復習になり、また、授業も大変よく構成して下さっていてとてもわかりやすかった。
- ・ すごく丁寧な授業でした。蓮見先生に会えてお話を聞けて将来の参考になりました。
- ・ きちんと私たちの表情や反応をみて、講義をすすめていただいた
- ・ 講義内容が非常にわかりやすかった。宮崎大学を卒業された先輩としての意見も聞けて有意義でした。

5-3. 蓮見先生の授業の改善すべき部分とその理由があれば書いてください。

- ・ 特にありません。(4人)

6-1. ホワイト先生の授業を5段階で評価して、○で囲んで下さい。

5. とても有益だった	4
4. 有益であった	1
3. どちらかという有益	0
2. どちらかという有益でない	0
1. あまり有益でない	0
0. 有益でない	0
未回答	0

6-2. ホワイト先生の授業の最も良かった部分とその理由があれば書いてください。

- ・今までやったことのない **tutorial** について具体的に始め方や **interaction** にフォーカスをおいて実演することができた。
- ・繰り返して練習できたのが良かった。
- ・授業は楽しかったです。分かりやすく説明してくれるので助かります。
- ・チュートリアル仕方を勉強できた。アピール仕方をみんなから学べた。
- ・自らが大勢の前で講義する（アウトプットする）のは英語を身につけるうえで一番効果的だと思った。

6-3. ホワイト先生の授業の改善すべき部分とその理由があれば書いてください。

- ・3日目は、練習日と準備日の認識が違っていた。より自宅での準備を念入りにすべきであったが、授業で練習をできると勘違いしてしまった日があったので、事前によく先生とコミュニケーションをとっていただければよかった。
- ・特にありません。
- ・特にありません

7. プログラム全体を通して改善すべき部分とその理由があれば書いてください。

- ・あまり講師の先生方の荒を生徒の前で表に出さないでいただきたい。
- ・特になかった。(2人)
- ・続けてやった後期のほうが前期よりも充実していて、講義に取り組みやすかったです。
- ・後期は5日連続で授業があり、前期よりも後期の方がおもしろいと感じました。
- ・もう少し準備の時間があればもっとよいものが作れたと思う。

8. プログラムの実施期間（時間）についてどう思いますか？

- ・連続でやることで英語の勘が少し戻った気がする。
- ・充実したプログラムだったが、朝の時間設定に余裕があったので、大変ありがたかった。再試期間と重なったため、1日だけ苦しい日もあったが、それ以上日程が後ろにずれると逆に春休みの日程と重なる人も多かっただろうと思われるので、仕方なかったと思う。
- ・ちょうどいいと思います。
- ・時間は適当だと思います。続けて授業があったほうがいいなと感じました。
- ・5年生のことを考えれば、適切なのかもしれません。

9. 自分自身の中・長期的な具体目標を立て、それを書いてください。

・ <中期目標（夏まで）>

- ・ 医学英語プリントをもとに、EMPメンバーとの勉強会を実施し、お互いに競争し合って、プリントにある単語を復習する。
- ・ **Speaking** ができていないので、勉強会で取り入れ、プレゼンをスムーズにできるようにする。

<長期目標（来年春まで）>

- ・ 医学英語プリントを完璧に理解・発音ができるようにする。
- ・ 臨床の現場で問題ない英語力を身につける。
- ・ 医学単語は徐々にみんなで練習していますが、それを会話の中で使うとなるととても難しいと思うので、新年度の勉強会で積極的に医学表現向上に努めたい。
- ・ 中期的には、英語力を落とさないよう、医学英語にもきちんと触れていきたいと思います。

長期的には、単語だけでなく、日常会話はもちろんですが、疾患（説明、症状など）も絡めて英語を学んでいきたいと思います。

- ・ 自信をもって話すこと。まちがえをおそれないこと。留学生がきたらたくさん話す。

長期的には、医学英語を少しずつきちんとやっていくこと。英語を忘れないように自分で努力していく。

- ・ 1週間で気付いた自分の弱点や課題を少しずつでもこなしていきたい。ソクラの学生と対等に話せるくらいの英語レベルまで上げていきたい。

10. その他、気がついたことや意見があったら、何でも書いてください。

・連絡係として不備が多く、ご迷惑をおかけしました。数少ないメンバーですが全員積極的でやる気もあるので、今後とも努力してまいりたいと思います。先生方にはたくさんのご準備をしてくださり、ありがとうございました。

- ・ 特にありません。
- ・ 特にありません。ありがとうございました。

<Welcome Party の様子 ～2011. 2. 28 日 『ベルエポックカフェ』にて～>



2.6 ENP3 授業報告

November 8, 2010

Yusuke Shiba

Today we learned technical nursing terms through a guessing game. I couldn't guess some even with clues. Technical terms are very difficult! Sometimes professors don't understand that. They should explain terms as easily as possible. I need to learn not only terms but meaning of terms.

2010December 1st

Miku Fukuda

In this class, we reviewed medical words we had studied in previous classes. The words were related to nursing work, for example, sphygmomanometer, stethoscope, antiseptic and so on. We also learned medical words about symptoms like fatigue, nausea, insomnia etc.. After that, we looked at the application forms of our seniors for the training in PSU, and then we discussed about what we had to write on the application forms, and what departments we were interested in. We understood that we have to write on the application form what we plan to learn in PSU, if we want to make the training at PSU better.

December 2, 2010

Yusuke Shiba

We were introduced to some websites related to PSU, medical services around the world, medical terms etc. The internet is a useful tool for getting information. But some information is wrong. We must adopt good and justified information.

December 22, 2010

Yusuke Shiba

Mr. Guest answered questions about some words and phrases that we thought were important. We must use correct words from one situation to another because listeners in different situations sometimes can't understand what we mean.. For example, "sorry" and "excuse me". Mr. Guest told us that native speakers often don't use "complete" grammar. I want to be able to speak well and explain my thoughts.

2011 January 26th

Miku Fukuda

We talked about what we learned and thought in each of previous training sessions. Mr. Shiba and Ms. Nishiyama talked about "Teate" (touching) and they said that hands had some special power for persons. Then, we discussed the effects of touching. We found that we could make patients feel comfortable or relaxed by touching. And we learned that it was very important to make the most of nonverbal communications like just being there and

touching. Like this, by talking about each experience in our training, we can practice expressing what we thought and learned.

January 26, 2011

Yusuke Shiba

We talked about our own experiences in nursing practice. During the conversation, topics included "stroking one's hair in Thailand" and medical "packing seat". Stroking one's hair is taboo in Thailand because Thai people think the head is blessed. Current packing seat is said to have been invented in Japan in the 20th century! Cultures of the world are very different. So I want to learn about nursing in Thailand, and about differences between Thai and Japanese culture.

February 21, 2011

Yusuke Shiba

We searched the internet for information on nursing. On the internet there is a lot of information on nursing in English! It was hard to understand the English, but the content of the nursing process was nearly same as in Japan. I am not good at making the nursing process, so I want to adjust it early.

2011 February 22nd

Miku Fukuda

In the previous class, we made sequences based on individual cases of interest in English, and we introduced the information to other members and teachers about the cases using the sequences in this class. We also practiced ways of expression we can use when we introduce someone to our thoughts (risk management, nursing plans for the patient etc.). After that we got some related advice from Ms. Iwakiri who is a master's course nursing student. During the training at PSU, we may have to talk about our way of thinking about nursing, so it was a good chance to practice writing sequences in English and introducing our thoughts about nursing.

2011 February 21st

Miku Fukuda

In this class, we talked about each of previous training sessions too. Mr. Shiba talked about a disabled person who works on the bed using a computer. He said that public nurses had to look for suitable jobs for the person and give some information about that and supporting them socially. We also discussed the role of public health nurses, especially for preventing suicide. I think we can learn not only English but also a lot of important attitudes for working as a nurse in ENP class.

February 23, 2011

Yusuke Shiba

Mr. White had us look at a text document and find formatting errors, and also gave us advice for using Microsoft

Word to write in English. There are rules to write Japanese, there are it in English too. To make text which easy for readers is need for us.

2.7 ENP3 2010 後期 授業アンケート (回収率：100%)

1. プログラム全体を通して5段階で評価してください。

5. とても有益だった	3
4. 有益であった	0
3. どちらかという有益	0
2. どちらかという有益でない	0
1. あまり有益でない	0
0. 有益でない	0
未回答	0

2. プログラム全体を通して最も良かった点とその理由があれば書いてください。

- ・麻生川さんや岩切さん、ウライ先生など、いろいろなゲストが来てください、PSUについての話もあり、少しずつPSUのイメージがついてきた。
- ・何を学んでいくべきかを、実際にソククラへ研修に行った方々の意見等をもとに選別して行えたので、とても有意義なプログラムになったと思う。また、学生の意見を十分に受け入れてもらえ、楽しみながら学んでいくことができた。
- ・学生主体の授業を展開してくれたこと。先輩を迎えて有益な話しをしてくれたこと

3. プログラム全体を通して改善すべき部分とその理由があれば書いてください。

- ・マイク先生やホワイト先生もきてくださったが、どちらにも学生から授業内容の提案を行ったほうが良かったのかな…と思った。内容はとても良かったが、たまに目的が分からなくなったりする時があった…。(自分の努力不足もありますが…)
- ・特にありません。(実習中だったので、課題などでないようになっていきましたが、少しずつは出しても大丈夫だったかな、と思います。何か決められたことがあると、やらなくては!と思えるので…)
- ・実習の合間だったため、十分に授業に対し、準備が出来なかった。

4. プログラムの実施期間(時間)についてどう思いますか?

- ・今回は実習もあり、なかなか決められた時間に、というのが難しかったが、空いた時間で密に授業があり、ちょうど良かった。
- ・学習の合間をぬって、スケジュールを合わせていただいたので、そんなに大変なこともなく実施できたとおもいます。
- ・もう少したくさんあったら楽しいです。

5. 自分自身の中期的・長期的な具体目標を立て、それを書いてください。

- ・中期：自分の興味ある分野について、専門的単語を用いて考えを述べる事が出来る。長期：ソンクラ大学にて、専門分野の実習を通して、日本とソンクラ（タイ）の看護の違いについて英語で話すことができる。
- ・中期目標）医療英単語、日常会話で使える英単語を1日10語ずつ覚え、それを使って、毎日英語を口にだすようにすること。長期目標）自分が興味を持つ分野の日本における現状を把握し、タイの方々に説明できるようスライド等を使って発表できるようにすること
- ・中期；産婦人科関連の単語や意味をまとめ、ケアプランまでたてる事が出来る。長期；ソンクラで、領域実習で分からないことを質問紙、説明されて理解できる

6. その他、気が付いたことや意見があったら、何でも書いてください。

- ・今まで、ENPを通して出会った全ての先生方や院生の方々に、感謝の気持ちでいっぱいです。ソンクラへ研修に行かせていただけるだけでなく、あらゆる面から支援をいただいて、本当にありがたく思っています。残りの5カ月あまり、今まで以上に努力して研修までの準備にはげみたいと思います。
- ・2年のころと比べ、自分では英語を少し話しているような気がします。

2.8 ENP2 授業報告

Monday, October 4th

Haruka Ibi

Today, we had orientation for latter period. We will have presentation by rotation week by week. In November 8th, Dr. Urai will come to Japan and talk for us. Ms Iwakiri explained to us her experiences of Songkla University. We asked some questions of her. She told us the communication with nurses of Songkla University. According to her story, when Ms Iwakiri had no way of telling in English, she used electronic dictionary. She said "People of Songkla University are very kind. We had more incentive for Thai.

Oct. 25th/2010

Chirhiro Kiyota

Haruka Tsuboi's presentation:

Ms.Tsuboi went to Southeast Asia with her friends. She belongs to the medical students' group "IFMSA" which is interested in overseas activities. This presentation was about her activities. She went there to conduct research on the sanitation of water in developing countries. The area she and her friends visited is very poor. There is little access to clean water there. As a result, people who live there drink dirty water from a river. She examined the water and found high levels of bacteria. This water gives the people who drink it stomachaches and diarrhea. She and her friends brought an"Eco bio block" with them. It is block which cleans water by using bacteria from natto. They used this block to clean the water in this area. They were not able to do this on a large scale, but I think that they gave some hope to the local people.

The problem of water pollution in developing countries is very serious. Because we have lots of water, it is not easy for us to think about this problem. But, perhaps we should.

Haruka Tsuboi

In this class, Ibi Haruka presented about home birth. Before this class, I didn't have knowledge of home birth very much. I just imagined that home birth had some risks. That's why I have never wanted to to give birth at my house in the future. But, my opinion has changed. Ibi taught us that there were some good points of home birth.

First, we can give birth with any postures which we want to take. For example, lying down, sitting, using pillow, and so on. So, we can give birth with feeling more relaxed at home than at hospital.

Second, home birth is safe. When I heard that, I was surprised because normally there are not medical equipments at home. Actually, pregnant women who have some risks of breech or cesarean section etc. can't give birth at home. Only pregnant women with permission of home birth can do.

Some members of ENP said that they want to give birth at hospital when they have their first baby, and then I've come t want to give birth at my house. I thought that it was good idea and I also want to do like that.

Momoko KOMATSU

Today, Ms. Urai came to our class all the way to tell us about PSU and Thailand. Frankly speaking, I didn't know about PSU and Thailand. I thought there are much in common between Thailand and Japan expectedly.

I was sad I couldn't tell Mr. Urai about Japan as thought. Because I didn't know features of Japan, and I hadn't have ability of speaking English well.

I want to research about features of Japan, and study English harder for when foreign people come to Japan. If I can do them, I think I can communicate with foreigners from various countries well. Then, good communication will bring us knowledge, good friendship, and so on. Today is special day for me to think purposes of studying English.

Monday, November 15th

Haruka Ibi

Today's teacher was Mr. Guest. We selected some English words and explained them by our words in English. We wrote the word in white board and spoke about it. I picked up "dementia", "dehydration", "morning sickness". I asked Mr. Guest why morning sickness has "morning". He said "Morning sickness gets heavy when mothers are hungry. In the morning, the stomach is empty. So, it's called "morning" sickness." I could understand fully. We presented 3 laps. After that, we asked Mr. Guest about English expression freely. He told us useful phrases in conversation. Mr. Guest taught us in the relaxed situation, so we could study English with delight.

Dec. 8th/2010

Chihiro Kiyota

Mr. Yokoyama' First Class:

We began this class with self-introductions, and answering the following questions: 1) Why did you join ENP? 2) What do you want to study at PSU? 3) What have you studied up to now? We were distressed, however. We want to study many things regarding maternity nursing, child health nursing, public health, psychiatric nursing, etc. We were worried whether we would be able to decide.

Mr. Yokoyama gave us homework for the next class. We had to watch a DVD and think about its contents. The DVD dealt with nutrition education in Britain. It is titled "Jamie's School Dinner". There were four more classes left in all. We looked forward to watching this DVD.

Tsuboi Haruka

The homework of this class was watching the video "Jamie's Dinner". I watched this video and I was very shocked again. In England, elementary school children don't know names of vegetables. They can't say asparagus looking at asparagus. (One of us also said the same thing.) Maybe, Japanese elementary school children can answer. In England, elementary school children hardly eat them. On the one hand, they were concern about fast food so much. To my more surprise, there is a constipation clinic for children in the area where Jamie went. When I heard that, I think why didn't the community try to change the child's eat habit? That's strange. I think children don't do any bad things. Adults should be blamed.

It is important that children have the right sense of taste. I searched about the children's sense of taste on the Internet.

Children don't like bitter taste or sour taste because their brain judge those kind of taste are dangerous. On the other hand, safety taste or pleasant taste for them is sweet taste. But if we adults give too much sweet soft drink and chocolate to children, they will lose the other tastes. We also should give different kinds of taste to children. Especially, we must pay attention to the children who are under the six years old.

According to this article, actually parents should not leave child's food to school. Parents should make healthy dishes for children at home, because the sense of taste starts to establish when one is 6 years old. If children will keep eating only foods of strange taste, it will cause the risk of becoming diabetic or high blood pressure. I think the idea of food habits which adults stick to have must be changed.

Wednesday, January 12th

Haruka Ibi

Today was the third Mr. Yokoyama's lecture. He made tea for us. The tea tasted good and feel relaxed us. First of all, we told about winter vacation. I spoke about the coming of age celebration. Everybody spent good time in their hometown. Typically, we discussed "Jamie's school dinner" and talked about British food life. It's grossly meat eating and fats sided. The food life has harmful effects for children's body and mind. We were surprised the differences between Japanese and British school dinner. Jamie worked hard for school dinner, but it was difficult to change people and government. We read the importance of human relationship from the video. I didn't like Jamie at first, but I come to like him as I watched this video and discern his real grace. Next lecture will be a Mr. Yokoyama's last lecture.

Jan 19th

PREPARED:BY Mr.Yokoyama

MOMOKO Komatsu

This class was the last of the semester. Today, we have watched the DVD about school lunches in England. The DVD showed the current state of school lunches in England, and the state was very terrible. Not only school lunches but also other foods contained much fat and many additives, so children fell into malnutrition and constipation , or children became restless. I was surprised that the influence of the meals was such large. So, a certain man, Jammy, changed this state. I think every Japanese people have to take care when preparing children's meals to help them grow up healthily. For example, every parent, teacher, doctor, nurse, school lunch staff, and dietitian can do something to protect children's health.

Jan 24th

PREPARED:BY Mr.Kato

MOMOKO Komatsu

In this class, we listened to Mr. Kato's activities with international cross. Mr. Kato spoke in English, so I think I have

to study listening skill in English much more. And, we did a site selection exercise using a map and many cards. There were many cards of schools, health centres, first aid posts, distribution points, markets, farming areas, police posts, security gates, and the international cross' facilities. To save people living in refugee camps or disaster camps, international cross members have to arrange each facility correctly. According to Mr. Kato, the main factors for arrangement are space, security, water, sanitation, load access, road logistics, environment, and beneficiary access. This class was very interesting for me.

The words that remain most in my mind is "an injured soldier is not a soldier." I was impressed by the idea that it is necessary to treat all people who are wounded. I want to become a nurse without forgetting these words.

Jan. 26th/2011

Haruka Ibi

Influenza was raging through Miyazaki University, so only four people were present for this class. One person was absent.

Today, Mr. White gave us a lesson on the English names of hospital departments. Naturally, because we are nursing students, we know the names of hospital departments in Japanese. We didn't remember them in English (except for a few terms like dermatology, ENT, ER, pediatrics, and surgery)

Mr. White showed us the names of all the departments that we couldn't remember. He also spoke briefly about medical treatment in Canada, America, and European countries. When we get sick, we have to decide to which hospital to go by ourselves. But in Canada, if people get sick, they go to their General Practitioner. The GP refers them to a specialist if he/she can't properly treat them.

We learned the English for hospital departments and the various conditions they diagnose and treat. We couldn't remember the names of many conditions even in Japanese. So, we need to study these things in both English and Japanese.

2.9 ENP2 2010 後期アンケート

1. プログラム全体を通して5段階で評価してください。

5. とても有益だった	1
4. 有益であった	2
3. どちらかという有益	0
2. どちらかという有益でない	0
1. あまり有益でない	0
0. 有益でない	0
未回答	1

2. プログラム全体を通して最も良かった点とその理由があれば書いてください。

- ・ひとりずつプレゼンを実施したことはとても良い経験になりました。英語でプレゼンをする機会はなかなかないですし、実際のディスカッションはうまく出来ない部分もみえて勉強になりました。
- ・英語の学習のために、色々な映画を見ることができたこと。自分ではあまり映画を観ないので、英語の勉強にも利用できて良かった。
- ・1年生の頃よりも、英語で勉強をしていたように思える。プレゼンの発表も、友人の意見やちょっとした豆知識などを聞いたりして、そう思った。
- ・メンバーの興味のある事についてをメインに進めるという形式が良かったです。2年生は授業もテストもきつきつでやってきたが、その中でも、興味のあることならなんとか時間を作ろうというきもちになれたからです。また、先生方も全面的にバックアップしてくださって、本当に有難かったです。

3. プログラム全体を通して改善すべき部分とその理由があれば書いてください。

- ・特にありません（2人）
- ・ホワイト先生の授業とマイク先生の授業がすぐに終わってしまったのが残念でした。連続した授業のほうがより多くのことを学べるきがするので。

4. プログラムの実施期間（時間）についてどう思いますか？

- ・適切だと思う。
- ・ちょうど良いと思います。
- ・1週間に1回だから、そんなに負担がなくて他の教科のほうも手が回るのもちょうどいい。
- ・水曜日の2コマ目は今までで一番やりやすかったです。（土日と月火をはさんでいるので宿題に時間をかけられたから）もし可能であれば1年の頃から、このENPがあっても良いのかなと思います。1年は時間があるし、ENPに興味がある1年生ももっと具体的な取り組みが早目にできると思います。

5. 自分自身の中期的・長期的な具体目標を立て、それを書いてください。

- ・自分の意見をすぐに英語で発言できるようになる
- ・ENPのプログラムを利用してタイに行くこと。
- ・その場その場できちんとすぐ受け答えができるようにして“会話”をする。
- ・春休みと3年生の前期では時間ができるので、今より英語の勉強に時間を割いて「医療英語」を中心に学習します。(玉田先生にいただいた教材などで)

6. その他、気が付いたことや意見があったら、何でも書いてください。

- ・優しい先生の指導のもとで授業を受けることができ良かったです。コーヒーや紅茶もありがとうございました。
- ・加藤先生やウライ先生がいらっしゃる時期にも先生方の協力があって、本当にありがとうございました。

2.10 病院看護部（N-ENP）授業報告

<Group A>

<Group B>

Wednesday , October 20th, 2010

Mitsuko Kawan

We reviewed the last class report. We translated an article about how to drink alcohol, and then we talked our ideas about the article in English. We learned words and grammar in this class. Next topics are travel and constipation.

Wednesday, November 10th, 2010

Mitsuko Kawano

We took a class about nursing history in Thailand.

The lecturer was Dr. Urai who came from Prince of Songkla University in Thailand.

I kept listening to the lecture in English for 90 minutes.

It was my first experience and I was very tired. To understand her lecture was too difficult for me.

Because I couldn't catch her pronunciations. I was impressed her gentle tone.

Wednesday, November 24th, 2010

Mayumi Umeda

First of all , we reviewed the last class's report.

Ms. Shirasaka brought a topic for our reading and conversation in English. We talked about nursing on disaster situation. We reviewed medical appliance words which are good ones to remember .

We reviewed nursing action phrase which are good ones to remember. We translated an article which is written about "constipation". There are some unknown cooking materials because it is the article about Spain. However, I understood that the olive oil is good for constipation. We practiced to make questions using "How often~?". We practiced it each other. Next topic is "food". We are going to bring our ideas and discuss with them.

<Group C>

Thursday, November 11

Mihoko Nakamura

Absentee : Ms. Mizoguchi, Ms. Yonei

We practiced remembering vocabulary such as "crib" and "disposable gloves" by looking at photographs. We also

played a game where we had to look at the photographs and say the English. We could usually remember the words, but it was difficult for us. In Japan, for example, we say "child bed," not "crib."

Next, we had a discussion about the population, capital city, and birthrate of Japan. This was Ms. Shirasaka's topic. Although we are Japanese, we don't know much about Japan! When the mine accident happened in Chile, there was information on Chile.

It's necessary to know about Japan, and then learn about foreign countries.

Lastly, Ms Kuramoto talked about her friend in Tokyo. Her friend does not have a job because of the recent economic collapse. She was a game creator, but now she is unemployed, and can't afford to go to the hospital. She is proud and believes she can work. We discussed this.

PS. I am interested in games, and I learned some English in the discussion.

18th. NOV. 2010

Atsuko Kubo

Absentee: Miss Sato, Miss Horiuchi

In today's lesson, we separated into two groups and then learnt about Thailand.

Ms. Shirasaka distributed some materials concerning Thailand to us. There were two kinds of materials.

Both of the material's contents were the same, but the places of blank were different.

I (We) (questioned) asked the answers of my material to another group.

The group that received our question (answered) gave us the correct answer from their material.

The work which we looked for the answer from the material was easier than we gave the answer without it .

I enjoyed it like a game and I thought that it was a significant and happy method to learn new English words.

2.11 病院看護部（N-ENP）後期アンケート（回収率66.6% 未提出5名）

1. プログラム全体を通して5段階で評価してください。

5. とても有益だった	3
4. 有益であった	4
3. どちらかという有益	3
2. どちらかという有益でない	0
1. あまり有益でない	0
0. 有益でない	0
未回答	1

2. プログラム全体を通して最も良かった点とその理由があれば書いてください。

- ・ 臨床で用いる医療用具の写真と、単語を照らし合わせて、覚えたところがよかったです。
- ・ 個人的に英語が苦手で、触れる機会も少なかったが、今回参加できたことで苦手・避けたいという気持ちがなくなり、今からでも学んでみようと思うようになった。
- ・ 日常生活を通して使う英会話から行なってもらい、少し英語を聞くことに抵抗がなくなってから病院で使用する英単語等などの学習となったので、楽しみながら受講することができました。実際に同じクラスのメンバーと会話をしながら学んでいったのも良かったです。
- ・ class の途中からでしたが、講師の提案で業務に必要な物品の名称をカードにした物を、ゲーム形式で学習したことは、楽しく、仕事の後の疲れた頭でも少しリフレッシュにつながりました。
- ・ 毎回授業は前回の復習から始まるので、忘れていた部分の確認ができた。
- ・ 授業内容を自分たちで決めて、学習することができ、先生が看護実践で役立つような資料を沢山用意して下さり、とても役立った。また、用意して下さった CD でリスニングしながら自己学習を深めることができ、予習や復習もしやすかった。
- ・ ディスカッションしたいテーマをメンバーが選んでフリートーキングができたこと。
- ・ PSU へ研修に行ったメンバーからの報告があったこと。テーマに沿ったフリーディスカッションをする中で言い方が分からない時は、先生からの指導や修正があって良かったと思う。
- ・ 日ごろは英語に触れないので英語に触れる機会となった。
- ・ 「看護師たまごの英語 40 日間ワークブック（基礎編）」を使用しながら、自分たちの専門部署の単語や例文を勉強できたこと。
- ・ 先生が今回一人であったが、進行の程度に合わせてすすめることができたので良かったと思います。今回は、国ごとで、文化や宗教、産業、出生率、など学習し、少し難しかったが、今までにない視点であり良かったと思います。

3. プログラム全体を通して改善すべき部分とその理由があれば書いてください。

- ・ 日常英会話になりがちであり、もう少し、医学に関連した話題を中心に行って欲しかったです。
- ・ 初めて参加したので、特にありません。
- ・ 特にありません（4名）
- ・ 受講者の〔受講者によって英語のレディネスが異なるので、自分のレベルで学習することは他の受講者の弊害になる〕という認識から、class での会話が弾まない状況があった。

受講者の人数の関係で、多くの class をもうけることは困難であるが、レディネスを考慮した class 分けがなされることを期待する。

- ・ 授業スピードをあげてもいいのではないかと思います。
- ・ 授業報告書の必要なことは理解していますが、正直、授業報告書の英文をなかなかスムーズに書けないので報告書が苦痛でした。

4. プログラムの実施期間（時間）についてどう思いますか？

- ・ ちょうどよかったです（2名）
- ・ 15 回程度あってもよかったと思いました。
- ・ もう少し長くてもいいのではないかと思います。
- ・ 勤務の都合により、参加できないことが心苦しいばかりで、設定には問題ないです。
- ・ ちょうど適していると思います。
- ・ 時間については、特に希望はありませんが、実施期間については、10 回が終わると次の ENP が始まるまでに期間があくので、できればもう少し長い回数があると良いと思います。
- ・ 妥当だと思います。
- ・ 妥当だと思います（1 時間では、なんとなく物足りないですが、2 時間は長すぎるため、1 時間半が妥当であったと思います）
- ・ 期間や時間はよいと思います

5. 自分自身の中期的・長期的な具体目標を立て、それを書いてください。

- ・ 学会参加、PSU 留学
- ・ 授業でいただいた CD を 30 分の通勤時間を利用し車の中で聞いていき、長期目標としては、自己学習しようと考えて購入した CD を来年度こそは 1 年かけて学習していき、1 年後には英語が好きになるようにしていきたい。
- ・ 今回の ENP での目標に英語を話す患者さんと基本的な英語のやり取りができるというものがありましたが、まだその段階には至っていないのでまずは、看護英語用語を聞き取れるようになり、そして会話が出来るようになったらいいなと思っています。
- ・ 外国からの留学生の案内が、不自由なくできるようになりたい。英語を話す抵抗感が今よりも減少すること。
- ・ 久しぶりに英語に触れ、また勉強しなおしたいと思います。まずは、授業で使った CD を通勤中に聞いているので継続したいと思います。

- ・中期目標：英語しか話せない患者さんやそのご家族に対し、患者さんや家族の要望に合った看護を実践することができる。長期目標：留学生が来た時に、英語で看護実践の指導ができる。
- ・英会話が必要な入院患者さんへの説明ができるようになること、英文がスムーズに読めるようになること
- ・中期：1日一文英語を読む、長期；英語の看護文献が読める
- ・少しずつでもいいから、日常的にも英語からはなれないように心がけ、外国人患者様でも、躊躇せず、会話が出来るとな度胸を付けていきたいと思います。
- ・中期目標：日々英語の学習を継続する長期目標：英語で（意思疎通）すみやかに会話ができる文章でも英語で表現できる

6. その他、気が付いたことや意見があったら、何でも書いてください。

- ・ 特にありません（3名）
- ・ 英語がとても苦手な分野ですが、病棟にソクラ大学からの国際交流の機会があり、お互いにスムーズに情報交換ができなかったことを残念に思い、今から出のできるのではと参加しました。ドキドキしましたが、10回目には「嫌だな」という思いはなくなっていました。これを機会に英語に触れていく機会を持ってみたいと思いました。
- ・教科書を与えられて、学習した初めてのベーシックの時は、受講者としては楽であったし、CDも大変役に立った。自ら、学習素材を見つけることが求められると、成人の学習者としてはそうあるべきだと思いながらやや負担感を感じる自分がある。
- ・毎回、とても楽しく勉強することができました。ありがとうございました。
- ・講師の先生がとても気を使われて、いろいろ準備されていたので申し訳ないと思いました。病棟に外国の方がお見えになっても>Welcomeの気持ちで迎えることができるようになったので、ENPを継続したいと思っています。
- ・楽しかったです
- ・今回は、研修などで欠席が多くすみませんでした。長く学習をしてきて、自分で感じていることはありますが、何が足りないのか、どうすれば改善できるのか、先生におききするのも客観的でよいのではないかと思います。いつも自分だけで終わっているのでもう一度は何おうと思います。

<Group A>

Date: November 2nd

Name: Haruna Sakai

We began today's class by talking about our own "news" from the past week. I mentioned that I had my hair cut short last week. I like the different feeling of short hair, and it's more practical than long hair, so I'm happy with this new style.

Next Rick answered some vocabulary questions we had. For example, we looked at the differences between "know" and "understand," and between "I'm sorry, but" and "I'm afraid," etc.

I asked about the difference between "division" and "department." Rick told us that generally a department is inside a division, but that different companies and institutions have their own ways of dividing their sections.

I enjoy having my questions answered, and I think it's important for us to ask questions.

2010/11/9

Takako Aman

Today we started with some casual conversation as a warm-up. Rick asked us if we had any "news".

After that, we looked at the questions we send as homework to Rick each week.

One classmate asked about the difference between department and division. Most of the time they have the same meaning, but it was interesting they are used differently in companies and the government. In companies, some departments gather and make a division, but in the government, some divisions gather and they make a department. We always use these words in our self-introductions, but we didn't know the meanings clearly.

After we looked at our questions, we had a discussion about one topic. We started doing this activity this term to practice speaking English with other people. Today's topic was a charm which Kyoko got from her trip in the U.S this summer. All of us have seen it before because it was used in a famous TV drama. One classmate said it was like a spider's web, but Kyoko explain that it was a charm for babies that are handmade by Native Americans.

Anyway, it was very cute and a good decoration for a room or a car.

It was the last class with Rick this term. It was kind of hard for us to keep thinking about and finding questions about English every week, but it kept us always thinking about English during the term. I'm sure it was good thing for us as English learners.

December 7th

Saki Ishikawa

In today's class, Ms Wakimoto and I had a presentation about our trip in Thailand (HatYai). We talked about Thai food, local market, traditional festival and Prince of Songkla University.

Then Ms Shirasaka gave us some worksheets which showed the cultural background information in Thailand. We asked and answered about Thailand each other by using these worksheets.

2010/12/14
Takako Aman

Today, we started a class with only two people, Ms. Shirasaka and me.
We waited for some of my classmates while we were talking about Udon.
Ms. Shirasaka asked me about my favorite food and its recipe. My answer was Udon, and I usually make it from flour by myself.
She encouraged me to explain how to make Udon in English. I tried, but it was more difficult than I thought.
She advised me that it was important to speak English in everyday English.
I thought there were only easy words in everyday English, but I found out there were many unknown words in it.
She always says that it is important to keep increasing the words which you don't know, and now I realized it is true.

Date: January 6th

Name: Haruna Sakai

Today, we studied about Thailand as we asked and answered some questions each other.
I have especially been impressed with three points.
First, I've already known that Thai people respect their king, but I didn't know that Thai people show their respects to the king with standing up and looking at the picture of the king before starting movies in theaters.
Secondly, Thai people who live in north and north east area have sticky rice mainly. I thought all Thai people have Thai rice. I was surprised when I heard this fact.
Finally, Thai adult males become monks for their mothers. Most of Japanese young males who become monks think of their profits not their mothers' ones.
Today's lesson was the last O-EMP lesson. We enjoyed studying thanks to the English teachers and friends. I learned that to practice English is the most important thing. I will try to continue to practice English.

<Group B>

2010.10.12

Yasuko Nagamine

Today was the 1st Ms. Shirasaka's class. We talked about how to study.
We would like to study weak parts of English. For example, we have poor vocabulary and grammar etc.
Ms. Shirasaka gave us some advice. Finally, we decided that we prepare English articles until next lesson and then we study 1 or 2 topics every week. And then we introduced ourselves to Ms. Shirasaka. I introduced Ms. Nagatomo. I was introduced by Ms. Tanaka.

2010.10.19

Ayumi Tanaka

We had the second O-EMP class on October 19. First, each of us read one subject of the column about alcohol

which was given by Ms. Shirasaka last week and translated it into Japanese. I didn't understand the sentence 'Start with a thirst quencher,' but she led me to the right meaning. Then, we had a talk about our own style of drinking alcohol, taste, quantity and so on. At the end of the class, we showed our own topics which we brought for the other three classes. And mine was selected for the next. Once again, because Ms. Shirasaka also made us feel pretty good this class even though we were nervous, we could have a happy and fruitful time.

2010/10/26

Kana Iwase

Today, we talked about "Anna Tsuchiya", but we're not up on "Anna Tsuchiya". So, we talked about other celebrities influenced us stemming from the topic. (Everyone is not going to say that to influence,) Though we weren't influenced by them, we told each person's favorite people such as an actor, an actress, a singer, a musician, etc... Finally, we had fun with some episodes of Ms. Shirasaka. This was my first class in a while. Therefore I often spoke in Japanese, I think I have to use more English in my daily life.

2010.11.9

Yasuko Nagamine

WARM-UP!

Ms. Shirasaka prepared two different pictures. The two pictures were not the same. Each person can't see other person's pictures. Then we asked and answered to find out what is different (what are the differences between two of them). Of course we talked in English.

Next We talked about foreign travels and movies.

<Foreign travel>

- One person (she) wants to go to the island of Bali and Maldives etc. She has been to the island of Bali. She was lying on the beach and drinking beer. Not doing anything makes her happy.
- One person (she) gave Helsinki's guidebooks (Japanese and English versions) to us. She asked some quizzes and taught us that Finland is the birthplace of Sauna.
- One person (she) wants to go to in Italy. She talked about Sagradafamilia and her favorite foods.
- I want to go to Europe on the Christmas season such as Paris. Don't you think it's Romantic?

<Movie>

We had a chat about our favorite actors, actresses and genre of movies. We also talked how many times we go to theaters etc. I'm sorry. I forgot details of the conversation.

<Note>

I've just found out.

I have heard.

December 14, Report

Yasuko Nagamine

We began today's class by talking about our recent "news." I mentioned that last week I bought the movie "Inception" on DVD last week. I'm looking forward to watching it during my New Year's holidays. Ms. Tanaka told us about going to the M's garden in Miyakonojo last week. The M's garden is a small shopping mall. There is a restaurant, a stationery shop, and a music hall there. We also talked about how we would spend our New Year's holidays.

Later in the class, Mr. White answered our weekly questions. Ms. Tanaka's question was about various points related to Canada's history. Mr. White explained a lot of thing for us, but I didn't know many words, so I couldn't understand very well. Mr. White said, "If you don't understand something can say stop. Don't worry. " I was relieved.

My own question was about the difference between "[Have] a happy New Year" and "Happy New Year," because I found two forms on New Year's cards. Mr. White's said that there was no difference between the two phrases.

Ms. Iwase came about 30minute late. She is very busy every day. Recently she has been preparing a skill test for the 4th-year medical students and she has to work late.

<Group C>

2010/10/21 (Thu)

Mana Okita

We started O-EMP class today. First, we checked our class schedule with Ms. Nanbu. Then, we practiced speaking in English using conversation examples. I enjoyed class this time. I'd like to try to write 3-line-daiary in the rule 6.

10.28.

Maho Miyuki

I had my 3-line-diary corrected by the teacher today. I'd like to learn various phrases and words from now. I really have learned a lot today. Especially, I thought it's important to read aloud.

I have to go over the lesson I learned this week.

11.4

Saori Nashiro

I understood well about plenty of ways to use "be going to" in today's lesson. It is a phrase that I ask other's plan, or tell my plan. If I have the chance, I'd like to use it. I'm looking forward to use it.

I get too nervous when I say English phrases that I memorized to the class. But I'm getting used to the situation. I think I need to try a little harder, because everybody memorized the English phrase very well.

I enjoy looking the diary written by classmates, and writing in my diary. So I want to continue to keep a diary.

11/11

Nana Yumae

We reviewed what we ~~was~~ learned in the past. The phrases we learned can be used normally. I enjoy talking about phrase that we just learned with Ms Nashiro the next day, and we could ~~learn~~ memorize them while taking. Next, we corrected everyone's diary together. Everyone's daily is very interesting because I could imagine everyone's life, and it is stimulating for me. My diary was short and had a lot of mistakes. I have to work harder.

2011/01/20

Saori Nashiro

Today's lesson point was phrase of "Here's your ...". The only phrase I learned in junior high school is "Here you are". I would like to use the new phrase very often, because it is a commonly-used phrase.

I can understand every lesson and I'm quite looking forward to learning, because the words used in the lesson are not tough words but some basic words that we learned at junior high schools.

I would like to study English harder, because I hope to be able to get a more smooth conversation with foreign students.

1.27

Nana Yumae

I attended the class in the middle because of my work. We studied about conversation of everyday life in English this semester. They were very practical and helpful to me.-I think I've been able to understand more and write dairy better than before. But I had many mistakes. I think I have to think about the meaning of the sentence when I write diary.

I could attend the class without being too nervous from the beginning because I had known the members of the class. We corrected everyone's dairy together in each lesson. It motivated me for the better because I felt a "comfortable" pressure. Although I don't have much English ability yet, I came to feel something familiar to English by studying it for two years. I would like to practice everyday conversation in my own way from now on. My goal is to explain the content of the lectures to foreign students in English.

<Group D>

12.October.2010

Marker :Hiroyuki Ito

I was late today's lesson because I had not finished my job.

Mr.Sekiya couldn't join this class because he was busy in work.

(Showed things in this lesson)

We practiced English conversation using a manga. At first, we read a manga and explained its story in English.

And listeners asked the story teller some questions.

(Impression)

Because I was late for this class and we tried new way to learn English today, I was little bit confused to understand the system.

But I will try to learn English as much as possible.

19.Oct.2010

Yuka Taninoki

In this lesson, at first, we read some manga and tried to play the role of a manga character in them.

But all the lines in these manga are written in Japanese, so we had to translate them in English.

The conversation is between a young foreign person and an owner of a bread shop.

Second, we played the role of a company workers talking about a party. Last, we played the role of a person who is enjoying a party. And, we need to consider which words to use many times.

26. Oct.2010

Tomomi Kitahata

17:30-19:00

(Showed words in this time)

- [domestic flight]
- [international flight]
- [comfortable]

Today, a foreign student from Slovenia, called Spela, joined our English class. We talked about several things such as ourselves, our countries, oversea travel and so on. Spela spoke English very well and her English was so fast. So, we could not understand her English sometime. But her story was very interesting for us. Especially, the story about Slovenia attracted us because we had few knowledge about her country.

First, we were surprised at the size and the population of Slovenia. Its area is the same as Shikoku in Japan and its population is only 2 millions. She said that Slovenia was a small country and the population of that was less than other countries. And said that it was the reason Slovenian people had to learn foreign languages to live, so almost all people could speak English. She speaks 7 languages and can speak Japanese, too. We thought it was so hard for us. We also respected Slovenian people because almost all people got over learning English and some people such as Spela can speak several languages to communicate with other countries people.

We were also surprised to hear that it is usual for Slovenian people to have a day trip to neighbor countries for shopping and sightseeing. And, if they want to go to EU countries, they don't need to have their passport with them. Because Japan is an island, we can seldom go to foreign countries and we must carry our passport with us when we go abroad. I thought it was so great if I could go to foreign countries so easily such as Slovenian people. Her story impressed me a lot and made me be curious to Slovenia. So, I want to go to Slovenia someday.

9 .November.2010

Hiroyuki Ito

We met Mr. Wan from Malaysia whom our teacher brought.

We introduced ourselves, too.

This time's topic was North Korea where Wan had traveled.

It was very interesting story but I don't feel like to go there.

Because I heard the news about the situation of North Korea, it must be dangerous to go there.

(Impression)

I had English lesson 14 times but I can't get the English words which foreign student used.

So I have listened to the music sung in English.

But I can't get the words in the music either.

I hope I can accustom listening English if I keep listening to the music in English every day.

2010/11/30

Kana Iwase

Today Rick answered our questions on three different topics. First, we learned some alternative phrases to the greeting "hello." Rick also gave us some tips for reading and understanding long sentences in English. And finally, we learned a couple of new English phrases ("You'll breeze through it." And "Let me sleep on it.").

When reading long sentences we should try to remember and look for "VSOP" (verb, subject, object, please!). I feel I'm starting to get the hang of this, but I'm not confident yet...

I couldn't understand literal translations of "You'll breeze through it" and "Let me sleep on it," but now I understand the meanings of these phrases. I think they are very interesting.

3 . December.2010

Hiroyuki Ito

We met Mr. Susan from Nepal whom our teacher brought. We introduced each other.

This time we learned Nepali language in English, listened the story about Guruka army which is famous Nepali army in the world.

(Impression)

I enjoyed this lesson because I could know many things about Nepal which I hadn't known.

7.Dec.2010

Yuka Taninoki

It was our first time to have English class with only Japanese members since this semester.

First, our teacher made a presentation of Nepal.

When I first time watched many photos of Nepal, I felt fresh because I hadn't been interested in Nepali life, people, culture ever. And I felt as if I had done time-slip to ex-Japan. Nepali people cultivated soil with cattle pulling ploughs. All family members helped out with their farm work. Children in the photos looked enjoying their life.

Nepalese looked like living their life so happily and harmoniously. Surprisingly, there is a caste system which is

strongly rooted in their culture. According to my teacher, we don't seem to be able to understand the caste system. That is so complicated. But I heard the caste system in India is more complicated than that in Nepal. To be honest, I cannot and don't want to understand it, but, I might accept it if I was born in India or Nepal. Religion has an influence on people's lives, so I am sometimes afraid of religion. It was so fascinating for me to listen to this story.

29. December.2010

Hiroyuki Ito

(Showed things in this lesson)

Mr. wan from Malaysia made a presentation about his hometown using his computer.

(about Malaysia's school, culture, world heritage in Malaysia, races, etc)

We asked him some question which we couldn't understand

(Impression)

I am happy that I have joined O-EPM because I met many foreign students, it was precious experience for me.

Today, we finished all the English classes which were supposed to do in this semester.

But I feel I have to keep learning English to travel foreign country.

I want to keep learning English and hope to speak good English in my future.

2.13 医学部事務部（O-EMP）後期アンケート（回収率 57.9% 未提出8名）

1. プログラム全体を通して5段階で評価してください。

5. とても有益だった	9
4. 有益であった	2
3. どちらかという有益	0
2. どちらかという有益でない	0
1. あまり有益でない	0
0. 有益でない	0
未回答	8

2. プログラム全体を通して最も良かった点とその理由があれば書いてください。

・毎回の授業内容だった、短編のストーリーと3行日記です。3行日記を考えるのは意外と大変で思いのほか苦労していたのですが、すぐに添削して頂けて次に繋がる表現方法を教えて頂けたり、他の方の日記の表現方法を見て勉強になったりしていました。そしてなにより楽しかったです。大変でしたが、皆の日記を読むのが面白くて自分も頑張ろうと思えました。短編ストーリーでは、日常に使えるワンフレーズや言い回しの表現が馴染み易い単語で書かれてあったので、とても覚えやすかったです。覚えたフレーズをちょっとした会話の中で使っていたのが良かったです。

・ホワイト先生の授業では、後期から毎週当番が話題を提供し、それについてディスカッションをするというのが始まりました。話題を考え、どういう流れで話をしていくかを考え、実際に人前で話すという過程は、大変勉強になり、良かったと思います。白坂先生の授業では、タイに関する知識が増えるような話題があり、大変勉強になりました。ゲーム形式で進めていくのも面白かったです。

・3-line-diary を定期的に続けることで、英語にふれる時間が増え、難しい日本語をどうしたら簡潔に英文に直すことができるか、考える癖が身についたように思います。

日常の出来事を日記にすることで、身近な物の単語やよく使う表現、使える熟語などを学ぶことができ、どれも良かったと思います。

・EMPを通して「英語をしっかり学ばないと！！」という強い意志を持った仲間と一緒に2年間勉強できたことがとても刺激になりました。最初の時間に、自分達が何を学びたいかを考え、それに沿って学習が進んでいくことも効率的で良かったと思います。

・複数の先生の授業を受けることができたこと。様々な形態の授業を受けることができたから。

・全体で10回の講義を前半、後半に分けて2人の講師の授業を受ける事ができ、変化があってよかったです。

・英語のみの研修だったこと。前期同様、私にはかなりハードルの高いプログラムだったのですが、日常で海外ドラマや語学番組を見る時、理解しようとする頭になってきたので良かったと思います。

・新しい先生（白坂先生）に教えていただいたことで新たな刺激を受けたこと、また前期同様前半後半に分けてもらって、それがホワイト先生担当だったこともあり自分の中に程よい緊張感を持続できたこと。

・後期EMPでは、様々な国からの留学生との会話を通してその国を知り、結果として自分は将来外国に必ず行くという思いを持てたのが自分にとってはとても良いことだったと思います。

前期でも留学生と会話をする機会があり、その時はお話を聞くのみでしたが、それでも一度は行ってみたいという印象を持ちました。後期では、本人からのお話だけでなくスライドを使ってその国の説明をしてくれたり、その国の言語に触れたりできたことで、より外国を身近に感じることができ、そのことが非常に良かったと思います。

・授業は、中学校で学んだ英語を使っての会話を中心として行われ、とても分かりやすく、毎回楽しかった。また、毎週3行日記をつけたことで、自分で文章を考えて書くということにも少し慣れてきた。

・何度目かのホワイト先生の授業でしたが、ネイティブの先生と1時間半お話をするのはとても貴重な時間だと思いました。(普段接する機会がないので)

3. プログラム全体を通して改善すべき部分とその理由があれば書いてください。

・特にありません。が、初回の時くらいから今回のような授業内容があったら良かったなあと思いました。

・特にありません。(7名)

・私のように全く英語に触れることのなかった人間と、ある程度基礎ができている方がいらっしやると思います。私の場合は、大人数での受講だと質問があってもしづらい…こんな事で聞くのは恥ずかしい…分からないけど皆さんの邪魔になりそう…という気持ちが少しありました。そのため、少人数制度にしていただけると良いのではないかな～と思います。講師の先生の負担は増えますが…。すみません…。私は、2年目の後期が少人数だったので一番効率の良い学習方法だったように思います。

・たまに基礎コースと応用コースの授業を合同で実施したりすると、お互い刺激を受けて良いのではないかと思います。

・仕事の関係で出席率が悪かったので、可能であれば、日程が決定する前に、受講者と先生で開講時期及び授業時間帯を話し合う機会があるといいような気がします。

4. プログラムの実施期間(時間)についてどう思いますか?

・無理をお願いして日程変更等をして頂けたので、大変助かりました。全出席出来るようにご配慮いただき、予定の期間よりもオーバーしていましたが、長いようであつという間に感じました。回数や授業時間は丁度良かったのではないかと思います。でももっと長い期間やりたいなあという気も致しました(笑)

・後期は仕事が年末に近づくにつれて、参加すること自体が厳しいこともありました。10～11月は比較的参加できましたが、12月になると参加が厳しくなってしまう、大変申し訳なく思いました。

・丁度よいと思います。(2名) 日によって短いな～と感じたこともありましたが、集中できる時間という意味でも2時間はBestだと思います。

・夏季は都合が良かったのですが、冬季はどうしても業務が長引き遅刻者や欠席者が多かったので、検討する必要があるかもしれません。難しいかもしれませんが、冬季は週2回実施して、11月までに終了するのはどうでしょうか。

・実施期間、時間ともによいと思う。ただ、業務の都合で出席できない事があり、とても申し訳ない思いです。

・良かったと思います。

・適当だと思います。

・やはり 17:30~は少し早いのかなーという印象でした。でも今回は時間が遅くなりそうな時はあらかじめ連絡して時間を遅くしていただきましたし、日程をずらすこともできたので、融通をきかせていただいて大変助かりました。ありがとうございました。

・ 年末は仕事が慌ただしく、なかなか参加できなかつたのが残念でした。

5. 自分自身の中期的・長期的な具体目標を立て、それを書いてください。

・習ったフレーズを日常の会話の中で取り入れていけたらいいなと思います。長期的な目標としては、3行日記をこれからも続けたいなと思います。

・リーディングに力を入れていきたいと思っています。英語に多く触れることで知らなかつた単語も自分のものに出来るように努力したいと思っています。

・[中期的目標] 添削が必要なくなるまで 3-line-diary を定期的に続け、単語・表現方法を多く身につける。

[長期的目標] 海外で英語を使い、旅行できる。仕事場で患者様やお客様のご案内ができるようになる。

・EMPで学んだことを生かしつつ、さらに自己学習を継続し留学生の対応を自信をもって出来るようになること。

・語彙力の強化、リスニング力の強化

・2年間で、先生方に英語の勉強の仕方(教材等)についても教えていただき、興味があるもの、自分に合っている物は購入したので、それを使って勉強を続けていく。

・仕事で英語でのやり取りが必要な時は、できるだけ自分で努力してやってみる。

・今期から始めた毎日の英語日記を続ける。

・日常生活の一部として英語と接しているようになることが理想。さいわい職場のスタッフに外国人が2名と恵まれた環境にあるため、なるべく英語を使うよう(にしよう)意識はしている。今後はAsahi Weekly購読やNHK講座受講を考えている。

・まず、リスニングに慣れたいと思います。会話の中で、相手の英語が早すぎて理解できないことがしばしばありました。慣れたら自分で会話の本などを参考に会話力を高めていけたらなと思っています。

・留学生や、外国人の方との日常会話がスムーズにできるようになると共に、英語での文書や申請書の作成がしっかりと出来るようになりたいです。

6. その他、気が付いたことや意見があつたら、何でも書いてください。

・一番最初に始まつたのが、10人ほどで1クラスの授業でしたが、私は初対面の方々と最初から溶け込めたり出来るほうではないので、楽しかつたのですが正直ちょっと苦痛でした。英語を習う不安とクラスの雰囲気での不安とでいっぱいでした。その点今回は慣れた部分もありますが4人だったので、とてもやりやすかつたです。質疑応答もしやすかつたし、毎회가とても楽しく過ごせました。これくらいの少人数でやって頂けるといいなと感じました。

あと授業レポートが日本語ではすぐ書けてしまうのですが、英語になおすことがなかなか難しく、全然進まず提出が遅れてしまつています。。。すごく個人的で勝手ですが、もう少しハードルが下がってくれたらいいな…と思いました。

短編ストーリーや3行日記はすごく為になるし、楽しくてやりやすかったので、最初の時にこんなのがあったら良かったなあと思いました。最初の授業内容が楽しかったけど私にとってはハードルが高すぎてちょっとついていけなかったのが今回の授業内容は分かりやすく楽しくてよかったなあと思いました。今回のような内容を先にしてからディベート等の授業があるとまだついていけていたのかなと感じました。

- ・とても楽しく学習出来ました。英語はずーっと苦手な科目で避けてきたものだったので、こんなに好きになるとは思ってもみませんでした。これからも、「継続は力なり」をモットーに頑張ります！2年間本当にありがとうございました。

- ・英語科の先生方、2年間お世話になりました。本当に楽しい授業であつという間の2年間でした。当たり前のことですが、2年間の英語の授業を通して「継続は力なり」ということを実感しました。逆もしかりで、少しでも勉強を怠ったり欠席したりすると、途端についていけなくなり、慌てる始末でした。仕事をしながらの学習は難しいものですが、これからも楽しみながら「継続」していきたいと思います。

- ・海外からの文書や極たまにかかってくる電話の対応にいつも不安を抱えていたのですが、二年間のプログラムを終え、英語の苦手意識が少し克服し、電話対応のマニュアル作成も出来ました。非常勤にも英語を学ぶ機会を与えてくださったことに深く感謝しております。

- ・今期は南部先生に教われなくて残念でした。

- ・2年間とても有意義で楽しい授業をありがとうございました。これからは、自分でコツコツと努力して、もっと英語に慣れるよう頑張りたいと思います。

- ・2年間授業を受けて、少しだけ英語に慣れた（気がする）ので、これからは能動的に使っていけるように勉強を続けていきたいです。

EMPも6年目が終わりました。GP3年間の予算も今年で終わりです。

ソクラ大学での臨床実習で自信を持って英語をしゃべるという目標で始めた目標はひとまず達成されたように思います。そろそろ次の段階に入ったようです。

2005年に、当時の医学部長の河南さんから医学科が始めたソクラでの実習で自信を持って英語がしゃべられるような講座を英語科で何とかしてもらえませんかと秋頃に依頼を受けた時、春に行く5年生は急ごしらえでも取り敢えずやってみようと思いましたが、なぜか四年生と、看護学科と病院の看護部も、可能なら受け入れを担当する事務局でも、大学院でも英語を使うための講座をやらないと全学的な広がりにはならないと考えました。まだ統合して間もない頃で、それまでの授業などに加えて木花での授業や会議なども増えた時期でしたので、更に増えると予想される臨床実習のための英語講座は、今から思うと、大変さを知らなかったからこそ出来たのだと思います。

医学科も5年生、4年生の時期に加えて2年生の前期でもやるようになっていきますし、アーバインにもすでに3人が実習に行き、来年も2人が行く予定ですし、ソクラにも毎年8人が行くようになっていきます。

看護学科も3年生と2年生でENPをやっていますし、ソクラにもすでに8人が行って実習を受け、来年度も3人が行く予定です。

大学病院の看護部も初めて5年目ですし、事務局も2年目で、放課後にENP、EMPを続けています。

医学科の4年生が2年から始めた最初の学年ですが、4年になったとき5名しかメンバーが残りませんでした。オリエンテーションでは20名ほどの希望者がいましたが、実際に始めたのは11名で、留年やら辞退やらで最終的には5名になりました。去年もソクラに派遣する8名枠が埋まらずに3名を公募で選考して派遣を決めました。来年も2年続きでそうなりそうです。8名枠を満たせない理由は色々と考えられますが、専門科目の学習やサークル活動など一番忙しい学年で英語の優先順位をどれだけ保てるかだと思います。実際には2年間の活動を続けるのは難しいようです。

もちろん、ソクラにしるアーバインにしる、行った人は例外なくよかったと言っています。ソクラの医学科の学生は国の事情もあって、5年生で研修医、6年生でレジデントと同じような仕事を任されますから、向こうに行って教わることも多く、EMPの学生にとってはまたとないいい機会だと思います。

看護科もそうで、ソクラ大の看護学部のレベルは高く英語を使える人も多く、教えられることが多いと思います。



大変なこともたくさんありますが、何とか工夫しながら続けられたらと思います。

2011年3月

たま